



SUMITOMO

SUMITOMO

限界突破!

燃費、働き、安全、そのすべてが、かつてない領域へ。

新型レジェスト  
「後方超小旋回」誕生。

未来の現場をリードし、これからのビジネスに立ち向かうために。  
住友建機のレジェストは、自らの限界を超える進化をここに極めました。  
社会環境へのさらなる調和はもとより、  
使う経営者にも、操る人たちにも、最高と呼べる性能を凝縮して。  
かつてない新次元の働きが、次のステージの扉を開きます。

LEGEST

SH125X/SH135X/SH235X  
後方超小旋回ショベル

オフロード法 2014年基準適合車 写真はオプション装着車

住友建機株式会社 〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1(ThinkPark Tower) ☎03-6737-2610  
http://www.sumitomokenki.co.jp

KAIHOU  
かいほう  
No.5 (通巻第74号)

日本建設機械レンタル協会

KAIHOU  
かいほう

No.5  
(通巻第74号)



徳島阿波踊り

寄稿

建設機械の環境対策について

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 大槻 崇

平成29年7月 九州北部豪雨災害における  
陸上自衛隊の災害派遣活動と建設機械の運用について

陸上自衛隊 西部方面隊 第5施設団 防衛班長 安部 康洋

情報化施工対応アスファルトフィニッシャについて

住友建機株式会社 技術本部道路機械技術部 溜池 晃志

お知らせ

登録制度等の検討に関する中間報告について

登録制度特別委員会

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会



KOBELCO

誰でも働ける現場へ  
KOBELCO IoT



事故“ゼロ”を目指して。



コベルコ建機は、いま現場が抱える安全対策を解決するため、  
建機業界初となる衝突軽減システム「K-EYE PRO」を開発しました。

人や障害物を検知すると、自動で減速、停止。

最先端のテクノロジーで、働く人を選ばない次世代の現場を、ともに作ります。



コベルコ建機株式会社

東京本社 / 〒141-8626 東京都品川区北品川 5-5-15 ☎03-5789-2111

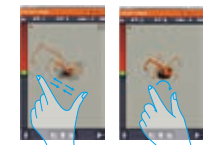
www.kobelco-kenki.co.jp

HITACHI

Reliable solutions

巧みな作業を、  
すべての人へ。

10.1インチの  
タッチパネルディスプレイ



ズームイン/ズームアウト  
ローテーション機能

優れたパフォーマンスと、  
視認性が向上したタッチパネルディスプレイ。  
施工図面を高精度に再現するICT建機が、さらに進化しました。

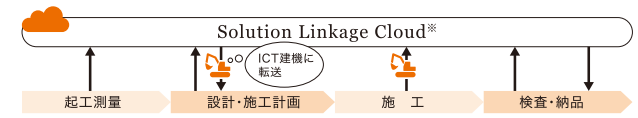
「Solution Linkage Assist」を搭載

生産性の向上を支援するために、日立建機独自のマシンコントロール機能によって、  
オペレータの操作をアシスト。従来機 (ZX200X-5B) と比べ、仕上げモード時の水平  
引き操作においてサイクルタイム35%短縮、最大速度25%向上を実現しました。

POINT 掘り過ぎ防止機能 | バケット角度保持モード

i-Constructionなど、ICT施工をトータルにサポート

各施工プロセスに必要なデータを一元管理できるクラウドソリューション  
「Solution Linkage Cloud※」によって、国土交通省が推進する、i-Construction  
をはじめとしたICT施工に役立つさまざまなアプリケーションを提供します。いつ  
もどこでも用途に応じて大容量のデータを簡単に共有・活用することができます。



※Solution Linkage Cloudの一部アプリケーションは別途契約が必要です。



ICT 油圧ショベル ZX200X-6



特定特殊自動車 国土交通省 2020年燃費基準  
排出ガス2014年基準 超低騒音型建設機械 100%達成建設機械  
適合車 指定機 申請中

「平成29年度 省エネルギー性能の優れた建設機械の導入に対する補助金」対象機械です(補助上限額300万円)。

日立建機日本株式会社  
https://japan.hitachi-kenki.co.jp/

RSS 現場のことならお任せ  
日立建機ニッポン!

ZX200X-6の詳細はこちら





**YANMAR**



**ViOシリーズ**

快適・信頼・安全を追求、  
完全後方超小旋回機。

バケット容量▼  
0.028～0.28㎡

後方超小旋回ミニショベル



**SV100**

ニーズに応じてさらに進化した  
10tクラス+ミニコンセプト。

バケット容量▼  
0.37㎡

後方小旋回油圧ショベル



**BUシリーズ**

オフセットブームの干渉防止  
機能付きで安全・快適作業。

バケット容量▼  
0.07～0.2㎡

新型超小旋回ミニショベル



**B7Σ**

ずば抜けた深掘り性能、  
独創のΣブーム。

バケット容量▼  
0.28㎡

超小旋回油圧ショベル



**SVシリーズ**

クラストップの狭所進入性、  
スリム&コンパクト。

標準バケット容量▼  
0.011～0.022㎡

超ミニショベル



**Cシリーズ**

パワフルな操作性と  
快適操作で作業効率アップ。

最大積載量▼  
990～3800kg

クローラキャリア



**Vシリーズ**

パワフルに、使いやすく、  
進化した高性能ローダー。

標準バケット容量▼  
0.16～0.6㎡

ホイールローダー



**LBシリーズ**

人の目にやさしい灯りで、  
全方向360度を明るく。

・メタルハライドランプ  
・1000w×1灯

投光機

※実際の販売モデルと形状が異なる場合がございます。また、仕様は改良などにより予告なく変更することがあります。



**Create the city of your dreams** あなたが夢みる どんな街づくりも、ヤンマーで。

YANMAR Construction  
Equipment  
since 1914

ヤンマー建機株式会社 〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野1717-1 TEL: 0570-064360 (ヤンマー建機お問い合わせ窓口)

●北海道営業部 TEL.011-807-3900 ●関東営業部 TEL.048-778-4878 ●西部営業部 TEL.06-6783-1121  
●東北営業部 TEL.022-259-7201 ●中部営業部 TEL.0567-95-5355 ●九州営業部 TEL.092-441-0928

●ヤンマー沖縄株式会社 TEL.098-898-3111

yanmar.com



# 「かいほう No.5」読者アンケート

この度は、かいほう No.5をお読みいただきまして、ありがとうございます。  
より充実した誌面をつくるために、ぜひアンケートにご協力ください。  
今後の特集記事や定例記事作成の際の参考にさせていただきます。

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、**ジェフグルメカード5,000円分を10名様に進呈**いたします。(協賛：樹芸企画)

※なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

- ご回答の際は、右ページをコピーしていただき、回答用紙としてご使用ください。
- FAX (03-3255-0513) にてご回答をお願いいたします。

**Q1** 『役に立った』／『印象に残った』／『面白かった』と思う記事を下記番号(①～⑳)でご回答ください。

- 巻頭言
  - ① 会長挨拶
- 寄稿
  - ② 建設機械の環境対策について
  - ③ 平成29年7月 九州北部豪雨災害における陸上自衛隊の災害派遣活動と建設機械の運用について
  - ④ 情報化施工対応アスファルトフィニッシュについて
- お知らせ
  - ⑤ 平成29年度 本部・委員会の活動について
  - ⑥ 海外視察「CONEXPO-CON/AGG (コネクスポ) 2017」(米国・ラスベガス) 視察研修 報告
  - ⑦ JCRA スーパーオークション報告
  - ⑧ 当協会 宇都宮昭憲 元副会長・常任理事 が黄綬褒章を受章
  - ⑨ 平成29年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について
  - ⑩ 協会ホームページについて
  - ⑪ 会員証の追加発行について
  - ⑫ 関係省令記事
- 健康コラム
  - ⑬ ・ストレスチェック制度って…?
- 休憩室
  - ⑭ ・すしの起源とは…。
  - ⑮ 平成28年度事業報告
  - ⑯ 平成29年度事業計画
  - ⑰ ●支部だより
  - ⑱ 建設機械の盗難被害報告
  - ⑲ 日本建機レンタル総合賠償制度支部別加入状況・加入案内
  - ⑳ 協会役員名簿 (平成29年度)
  - ㉑ 協会支部名簿 (支部長・支部事務局)
  - ㉒ 編集後記

**Q2** 今後取り上げてほしいテーマや記事がありましたらお書きください。

\*なお、ご記入いただいた情報、アンケートの内容に関しましては、当選品の発送、今後の紙面づくりの参考にのみ使用させていただきます。

送付先 FAX 03-3255-0513

(一社)日本建設機械レンタル協会

締め切り 平成30年5月31日まで にファックスにてお送りください。

## かいほう No.5 読者アンケート 回答用紙

**A1**

『役に立った』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

『印象に残った』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

『面白かった』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

**A2**

今後、取り上げてほしいテーマや記事がありましたら、お書きください。

ご回答ありがとうございました。

氏名	
会社名	
部署・役職	
TEL・FAX	TEL FAX
E-MAIL	@



### 「かいほう No.5」読者アンケート

#### ● 巻頭言

##### 会長挨拶

・一般社団法人日本建設機械レンタル協会 会長 角口 賀敏…………… 6

#### ● 寄稿

##### 建設機械の環境対策について

・国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 大槻 崇…………… 8

##### 平成29年7月 九州北部豪雨災害における陸上自衛隊の災害派遣活動と建設機械の運用について

・陸上自衛隊 西部方面隊 第5施設団 防衛班長 安部 康洋…………… 16

##### 情報化施工対応アスファルトフィニッシャについて

・住友建機株式会社 技術本部道路機械技術部 溜池 晃志…………… 22

#### ● お知らせ

##### 登録制度等の検討に関する中間報告について …………… 24

「CONEXPO-CON/AGG (コネクスポ) 2017」(米国・ラスベガス) 視察研修 報告  
(2017(平成29)年3月4日(土)～3月9日(木)) …………… 30

JCRAスーパーオークション報告 株式会社ALM …………… 32

当協会 宇都宮昭憲 元副会長・常任理事 が黄綬褒章を受章  
・宇都宮 昭憲 氏 (長浜産業株式会社) …………… 34

平成29年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について  
・高野 泰行 氏 (株式会社高野工会)  
・原 茂 氏 (株式会社原鉄) …………… 35

協会ホームページについて…………… 36

会員証の追加発行について…………… 37



#### 関係省令記事

- ・第3次排出ガス対策型建設機械の指定等について…………… 38
- ・低騒音型・低振動型建設機械の指定について…………… 40

#### ● 健康コラム

- ・ストレスチェック制度って…? …………… 42

#### ● 休憩室

- ・すしの起源とは…。…………… 46

平成28年度事業報告 …………… 48

平成29年度事業計画 …………… 50

#### ● 支部だより

- ・青森支部 気田 福俊 …………… 52
- ・岩手支部 高橋 悦見 …………… 56
- ・福島支部 久保田栄二 …………… 58
- ・新潟支部 吉田健一郎/佐藤亜希子(投稿者) …………… 60
- ・群馬支部 中川 秀敏 …………… 62
- ・東京支部 藤本 俊雄 …………… 64
- ・長野支部 原 茂 …………… 66
- ・静岡支部 田島 潤一 …………… 68
- ・中部支部 瀧 哲也 …………… 70
- ・関西支部 北野 一雄 …………… 72
- ・中国支部 宇都宮昭憲 …………… 74
- ・九州支部 中野 登 …………… 78

建設機械の盗難被害報告…………… 94

日本建機レンタル総合賠償制度支部別加入状況・加入案内… 98

協会役員名簿 (平成29年度)……………100

協会支部名簿 (支部長・支部事務局)……………102

編集後記 ……………104

## ご挨拶

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

会 長（代表理事） **角口 賀敏**



会員の皆様並びに関係各位におかれましては、平素より当協会の事業活動、運営等に関しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内景気は、「緩やかな回復基調が続いている」との景気判断が長期化しており、実感はあまり伴わないものの、高度成長期の「いざなぎ景気」の57ヶ月を抜いた可能性も示されるに至っております。このような中、個人消費の回復の遅れはあるものの、企業収益も大企業を中心に改善しており、地域や中小・小規模事業者にも経済の好循環が拡大することが期待されます。

私ども建設機械レンタル業界については、首都圏においては、東京オリンピック・パラリンピック関連工事や大規模再開発等による活況が見られますが、地方では温度差が感じられるところです。そうした中、平成28年のレンタル市場規模は、本会の“建設機械レンタル業実態調査”では前年比1,300億円減の約1兆2,200億円と推定しております。また、建設投資見通しについても、建設経済研究所が昨年10月に公表したところでは、平成29年度は前年度比1.4%増の53兆2,300億円、さらに、平成30年度は前年度比3.2%減の51兆5,500億円となっています。何れも50兆円台の建設投資を見込んでおり、短期的には経営環境は好転しているものと考えておりますが、一方、これらの特需後を見据えた、中長期の経営戦略や経営計画に留意することが求められるところです。

次に、災害につきましては、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨などの災害が頻発する中、切迫する巨大地震・津波や激甚化する気象災害から国民の安心・安全を確保するための防災・減災対策等が差し迫った課題となっています。このような状況の中、建設機械レンタル業は、災害時の復旧・復興には、その保有する建設

機械器具や備品類が欠かせない状況になっていることから、社会的責務として、国や地域自治体との連携を確保しつつ、これらの活動に積極的に協力してまいることとしております。

平成も30年を迎えましたが、その多くが昭和40年代の高度成長期に誕生し、若い産業と言われてきた建機レンタル業も、半世紀を経過し、現在、ユーザーである建設企業の使用する建設機械の6割以上を担うに至っております。

こうした中、市場の成熟化もあり、本業界は大きな変革期を迎えていると考えております。これらを踏まえ、(1) 建機レンタル業界の社会的信用の向上とレベルアップ及びユーザーの便宜を図ることを目的とした、協会独自の業者登録制度の創設並びに、本登録制度に併せた、レンタル拠点の営業所長を対象とする新たな資格制度の実施、(2) 国土交通省が拡大推進する、全ての建設生産プロセスでICT等を活用する「i-Construction」（建設現場の生産性向上）への着実な対応、(3) 少子高齢化の進展に伴う若年層の人材不足等を踏まえ、魅力ある建機レンタル業を目指した労働条件の改善を始めとする働き方の見直し等の課題に、積極的に取り組み、推進していくことにより、業界の健全な発展と社会的地位並びに認知度の向上を目指してまいり所存です。

結びに、これからも、建設機械レンタル業が「信頼される業界」と言っていただけのように努めてまいりたいと存じますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、会員並びに関係各位のご隆盛をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

以 上



● 寄稿

# 建設機械の環境対策について



国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

課長補佐 **大槻 崇**

## 1. はじめに

みなさんご承知のとおり、人間活動のありとあらゆるものは、生活環境や自然環境への影響が避けられません。人間の生活を便利で豊かにするために行われる建設工事も、建設機械による騒音や振動、排出ガスによる異臭や健康懸念といった生活環境への影響から、排出ガス中の二酸化炭素(CO<sup>2</sup>)等による地球温暖化への懸念といった自然環境への影響を生じさせてしまいます。

これらの影響は、主に建設機械の使用に伴い発生することから、建設工事業者が中心に対策をとりつつも、建設機械等の製造・販売・レンタル・メンテナンスサポートを行うメーカー・販売会社・レンタル会社のみなさんにもご協力頂いて取り組むことが効果的と言えます。

本稿では、建設機械の環境対策として近年関係者に対して大きく影響のあった、建設機械などの特殊自動車排出ガス規制の最新基準(2014年(平成26年)基準)が、昨年(平成29年)9月1日に完全施行されたことを踏まえ、改めて、建設工事での建設機械の使用における環境影響とそれらへの対策について概観します。

## 2. 建設工事の環境影響に関する状況

まずは、上記に挙げた、各種環境への影響がどれほどのものであるかについて、環境省が長年実施している「公害苦情調査」をみますと、少し古いデータですが、平成25年の結果報告を見ると、苦情実態としては騒音と大気汚染に関するものが多く、それらの事案

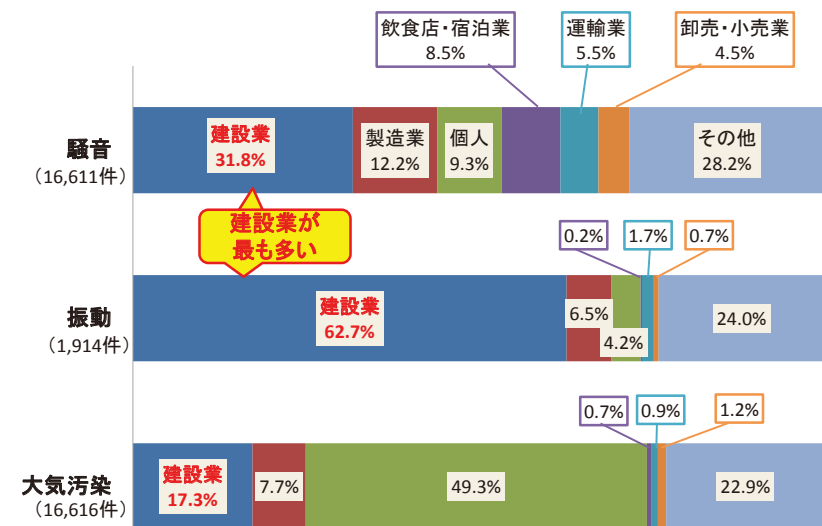
典型7公害の種類別苦情件数の推移(平成25年度)



※「土壌汚染」及び「地盤沈下」は苦情件数が少ないため、表示していない。

出典: 公害苦情調査結果報告書

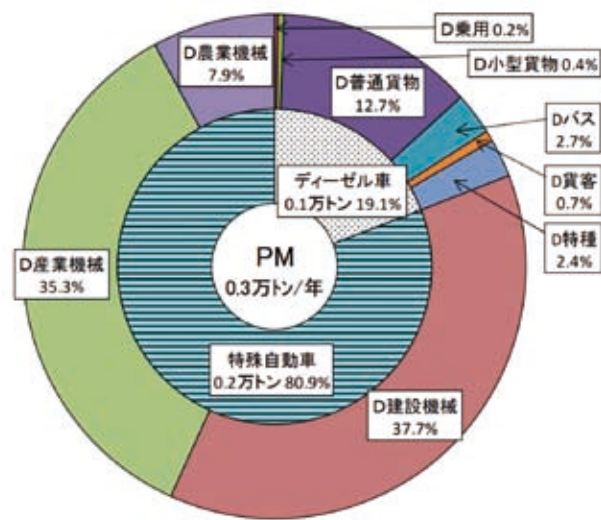
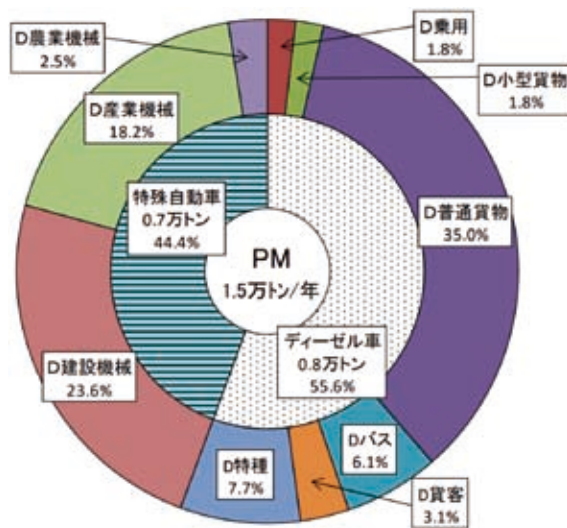
主な発生源別公害苦情件数の構成比(平成25年度)



出典: 公害苦情調査結果報告書

を発生源で分類すると、騒音と振動では、建設業が最も多くの発生源を占めていることがわかります。また、大気汚染に関しても、個人の発生源を除けば、建設業が最も多く、多くの方々に公害苦情として認知されていることがわかります。

大気汚染に関しては、工場などの固定発生源を除いた自動車等の移動発生源について、環境省による発生源毎の排出量推計によると、人などが吸引することで肺への健康被害が懸念されている微小粒子状物質(略して「PM」という)については、平成27年時点



発生源別PM排出量の割合(平成27年)

発生源別PM排出量の割合(平成37年)

〈自動車排出ガスの車種別排出量の推計〉  
 (※中央環境審議会自動車排出ガス専門委員会 第13次報告 参考資料より抜粋)

で2割程度の排出量を占めています。この時点でも、ディーゼル貨物自動車に次いで大きな排出量ではありますが、この先、平成32年度には、約4割の排出量を占め、最大の発生源となることが推計で示されています。

騒音、振動、大気汚染に関する排出ガス対策のいずれについても、建設工事における対策が今後とも強く求められている背景がわかることと思います。

### 3. 建設工事の環境対策

それぞれの課題に対して、建設工事事業者が求められている取り組みについて、個別に概観していきます。

#### 3.1. 騒音対策 — 規制法に基づく事前届出と発注者による指定機械の使用 —

##### ① 騒音規制法の前届出

先ほどのグラフにもある通り、昭和40年代から最も頻度の多い苦情となっていたの

は、騒音問題でした。そのため、昭和43年に騒音規制法が制定され、建設業では「くい打ち作業」などの「特定建設作業」と定義された作業を実施する場合、当該作業の実施7日前までに市町村に届出ることが義務化されました。平成9年の改正で、「バックホウ(80kW以上)、ブルドーザ(40kW以上)、トラクタショベル(70kW以上)を用いた作業」も特定建設作業に組み込まれ、事前届出が必要となりました。

##### ② 国土交通省発注工事等での低騒音型建設機械の使用原則

一方、建設省(現・国土交通省)では、昭和51年に『建設工事に伴う騒音振動対策技術指針』を制定、更には昭和58年に“低騒音型・低振動型建設機械”の指定制度を発足し、昭和62年から建設省発注建設工事に関し、その仕様書にて指定された場合に、当該指定建設機械の使用を原則とする取り組みを

#### 特定建設作業に該当する作業の例示

2.【各論①】騒音・振動対策

建設作業	騒音	振動
ディーゼルハンマ	○	○
ドロップハンマ	○	○
もんげん(人力)	×	×
油圧バイルハンマ	○	○
エアハンマ	○	○
パイプロハンマ	○	○
油圧圧入、ワイヤ圧入	×※1	×
プレボーリング工法(アースオーガ+直打工法)	×	○
プレボーリング工法(アースオーガ+根固め)	×	×
中掘工法(アースオーガ+直打工法)	×	○
オールケーシング工法(ベノト工法)	×	×
アースドリル工法	×	×
リバースサーキュレーション工法	×	×
地中連続壁工法	×	×
鋼球による破壊	×	○
舗装版破砕機(ハンマを落下させるもののみ)	×	○
ハンドブレーカー	○	×
油圧ブレーカー	○	○
コンクリート圧砕機	×	×
ブルドーザ(40kW以上のもの)	○※2	×
バックホウ(80kW以上のもの)	○※2	×
トラクタショベル(70kW以上のもの)	○※2	×

○: 特定建設作業 ×: 特定建設作業対象外  
 ※1: くい打ち機及びくい抜機のみ対象、圧入式くい打ち機は対象外  
 ※2: 環境大臣が指定するものを除き、原動機の定格出力が指定以上のもの

国土交通省が低騒音型建設機械として指定したもの

始め、今につながっています。

この指定制度は、平成9年に騒音規制法で特定建設作業に「バックホウ等を用いた作業」が盛り込まれる改正がなされた際に合わせて、指定方法などを見直す改訂を行いました。当該改定後の指定制度で指定された低騒音型機械であるバックホウ・ブルドーザ・トラクタショベルを使用する場合は、特定建設作業としての事前届出は不要となることが告示で規定されており、指定機械を使用することで、発注者からの仕様とともに一部法令にも対応できるメリットがあります。そのため、低騒音型建設機械は5,000型式以上もの多くの機械の申請と指定がされており最も普及した対策型建設機械となっています。

低騒音については、騒音規制法の前届出と、発注者による仕様書での指定の有無に対応いただくようお願いします。



《指定ラベルの例》

#### 3.2 振動対策 — 規制法に基づく事前届出と発注者による指定機械の使用 —

振動に関しても、振動規制法が制定され、事前届出が必要となる特定建設作業が規定されています。どのような作業について規定があるかの例は、先の3.1にある表を参考にしてください。



また、発注者による仕様書での規定によっては、対策型建設機械の使用が求められているものがあるので、その点の注意が同様に必要です。なお、振動規制法では、バックホウ・ブルドーザ・トラクターショベル等の使用が特定建設作業からそもそも除外されているため、という、事前届出にかかる特例等はありません。

### 3.3. 排出ガス対策 (HC,CO,NOx,PM,黒煙の低減対策)

#### ①オフロード法への対応

建設工事における特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(以下、「オフロード法」という。)が平成18年10月より施行され、公道を走行しない特殊自動車等(以下、「特定特殊自動車」という。)についても、道路運送車両法にて特殊自動車に対して実施されている規制と同等基準の排出ガス規制が開始されました。

これにより、平成18年10月以降に生産が開始された建設機械について、公道を走行しない特殊自動車(主にクローラー式の建設機械など)についてはオフロード法の技術基準適合が必要となりました。

(※公道を走行する特殊自動車(主にホイール式の建設機械など)については平成15年から道路運送車両法の技術基準適合が必要となっています。)

国内の建設機械メーカーが製造する建設機械の場合は、メーカーが技術基準に適合する機械としての型式届出を環境省・国土交通省・経済産業省(以下「主務大臣」)に行い、基準適合表示を付した建設機械が流通されます。しかし、海外から特殊な建設機械等を輸入する際には、メーカーによるオフロード法

に関する手続きが行われていないことが多いため、その際は、輸入代理店による少数承認申請を主務大臣に提出するなどの、必要な手続きがありますので、必ず、環境省又は国土交通省にお問い合わせを頂くをお願いします。

なお、建設工事業者の個別のニーズに対応して製造又は輸入される建設機械については、当該使用者の申請により、主務大臣による一台ごとの個別確認の手続きも用意されています。必要に応じて、使用予定者となる建設工事業者の方に、当該手続きのご案内のご協力をくださいますよう、お願い致します。これらの必要な手続きを経ることで、以下に示す基準適合証を建機に付すること等ができ、それによって、国内建設工事現場での使用が可能となりますので、必ずこれらの手続きを踏んでいただくようお願い致します。

②国土交通省発注建設工事等における排出ガス対策型建設機械指定建設機械の使用原則  
上記のオフロード法等の施行以前の平成8年から、国土交通省等の発注建設工事では、“排出ガス対策型建設機械指定制度”(国土交通省)にて指定された建設機械の使用が、工事の発注仕様書を通じて原則化されています。

オフロード法施行以降は、オフロード法の技術基準適合として適合証等が付されている建設機械も、指定機械と同様の扱いを受けるものとして運用されています。

それぞれの制度の違いにより、基準に適合するものとして貼付されるステッカーが異なりますので、参考に以下に示します。

#### ③適正な燃料の使用

国土交通省発注の工事における共通仕様書

排出ガス対策型建設機械の表示(ラベル)、オフロード法<sup>※</sup>の表示(ラベル)  
※特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)

参考

#### 一般工用機械

1. 「一般工用機械」の枠内の表示(ラベル)が貼られた建設機械は、仕様書等に規定される排出ガス対策された建設機械として、直轄工事において使用が可能です。  
※ ナンバーを取得している特殊車両であって、平成15年以降の排出ガス規制に適合した特殊車両(自動車検査証の型式欄に3桁の識別記号(2桁の場合は、SA-,SB-,SC-,SD-)があるもの。)は、上記1と同等の排ガス性能を有します。



《ラベルの一覧》

#### オフロード法や排出ガス対策型建設機械指定制度の対象分類

エンジン出力帯	■再発注建設機械	可搬式建設機械
0~19kW	① 小型クローラー、小型ショベル等	②
19kW	道路運送車両法による排出ガス規制の対象(オフロード専用)	
550kW	オフロード法による排出ガス規制の対象(オフロード専用)	

指定制度で対象とする機種  
(道路運送車両法の指定及びオフロード法の届出がされた車両は対象外)

道路運送車両法及びオフロード法の規制対象機種

①第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(H18.3.17付国総施第215号)

②排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(H18.3.17付国交省告示第348号)



及び、オフロード法に基づく「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針」（平成18年9月28日付け国土交通省告示1152号）では、「軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するとき、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者又は団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう。）を選択すること。」等と、適正な燃料の使用を規定しています。

従前より、日本建設機械レンタル協会様には、当該適正燃料の使用推進に関して多大なるご協力を頂いておりますが、引き続き、使用者の方への周知にご協力をお願い致します。

### 3.4. 地球温暖化対策（CO<sup>2</sup>の低減対策）

近年、政府を挙げた取り組みとして、温室効果ガスとなる二酸化炭素（CO<sup>2</sup>）の排出低減対策があります。国土交通省では、平成8年から「建設施工の地球温暖化対策検討分科会」を設置して対策を検討してきました。

平成28年5月に閣議決定された『地球温暖化対策計画』では、当該検討の結果取り組んでいる、「低炭素型建設機械（ハイブリッド等の特殊な燃費低減機構を備えたもの）」及び「燃費基準達成型建設機械（ハイブリッド建設機械に限らず一定の燃費基準をクリアしたもの）」の普及が、建設施工分野の中心

的取り組みとして位置づけられています。

国土交通省では、これらの認定機械（※現在は、ショベル、ホイールローダ、ブルドーザの3機種）の普及に向けて、環境省及び経済産業省と連携して、中小企業向けの低利融資の創設や、省エネルギー型建設機械導入補助を実施しています。

なお、当該補助事業では、盛土表面の仕上げなどを少ない動作で実現できるICT建設機械も、使用燃料が少なく、発生CO<sup>2</sup>が少ないものとして補助の対象にしています。

すでに、多くのレンタル会社の方々に、当該制度のご活用を頂いておりますが、引き続き、普及に向けたご協力をお願い致します。

### 4. おわりに

国土交通省と経済産業省で行っている「建設機械動向調査」によれば、現在、建設工事で用いられる機械について、その保有の6割をレンタル会社に担って頂いている機種があることがわかっています。このことから、建設工事における環境対策を推進する上で、レンタル会社のご協力は欠くことができません。

従来の地方建設業が建設機械を保有するといった実態に対応し、排出ガス対策型建設機械等の購入支援では中小企業向け低利融資を中心に取り組んで来ていますが、近年の省工

ネルギー型建設機械の導入補助金では、その普及をレンタル会社にもご協力いただくべく、制度上の対応を進めてきております。

ICT建設機械の活用を盛り込んだ、国土交通省の進めるi-Constructionにおいてもレ

ンタル会社の皆様に多大なるご協力を頂いているところですが、環境対策においても引き続きご協力いただくことを願ひまして、日頃の感謝とともに、まとめとさせていただきます。

**騒音**

**1976年度(S51)～**

- 生活環境の苦情の多くが建設業。  
(騒音:3割、振動:6割)
- 騒音規制法(S43)、振動規制法(S51)  
「くい打ち」等の事前届出規制
- 建設省『騒音振動対策技術指針』  
(S51策定,S62改訂)
- 建設省『指定制度』(S58,H8)  
(音:5,561型式(22機種)、  
振:27型式(2機種))
- 建設(国交)省発注工事での  
低騒音型の使用原則化(S62)
- 騒音規制法改正(H9)  
「バックホウ・トラクター・ショベル・ブルドーザ」を用いる作業に事前届出規制導入、建設(国交)省指定の対策型機械の使用をする際は届出不要の特例を同時導入。

**排出ガス**  
(HC,CO,NOx,PM,黒煙)

**1991年度(H3)～**

- 自動車からのNOxやPMの2割を排出
- 『建設機械に関する技術指針』(H3)
- 『指定制度』(H3)  
(108機種  
1次:3,202型式,2次:2,527,3次:889)
- 建設(国交)省発注工事での  
排出ガス対策型の使用原則化(H8)
- オフロード法(H17)  
H18年以降製造・輸入のオフロード車  
について技術基準適合の義務化  
(’06:1,184型式, ’11:242, ’14:260)  
(※出力毎に開始年限の違いあり。)

**振動**

**1998年度(H10)～**

- 国内建機から約1,000万tのCO<sub>2</sub>排出(国内排出総量の13億tの約1%弱に相当)
- 検討分科会設置、運転手引きの策定(H15)、認定制度(H19,H22,H23(3機種))
- 補助金や中小企業向けの低利融資を活用し、ハイブリッド建機等の普及促進。

(※■は背景状況、●は法律の動き、○は建設省(国交省)の取り組みを記載。数値は、平成28年度末の値。)



● 寄稿

# 平成29年7月 九州北部豪雨災害における 陸上自衛隊の災害派遣活動と 建設機械の運用について



陸上自衛隊 西部方面隊 第5施設団  
防衛班長 **安部 康洋**

## 1 はじめに

陸上自衛隊は、一般社団法人日本建設機械レンタル協会（以下、レンタル協会と呼称）と陸上自衛隊補給統制本部施設部との「建設機械等の情報に関する合意書」に基づき、レンタル協会から円滑に派遣活動を実施するための情報を頂いております。

この度、日本建設機械レンタル協会の「かいほう」に投稿するという貴重な機会を頂いたため、最近の災害派遣活動である平成29年7月九州北部豪雨災害における第5施設団の災害派遣の状況とレンタル機械を含めた建設機械の運用について、現地で活動した部隊を代表して紹介させていただきます。

## 2 第5施設団の概要

第5施設団は、全国に所在する陸上自衛隊の5つの方面隊のうち、九州から沖縄までを

活動範囲とする西部方面隊の直轄の施設科部隊です。西部方面隊は、2個師団、1個旅団と、その他の方面直轄部隊で構成されています。施設団はその保有する技術と施設器材（建設機械）をもってこれらの部隊を支援する役割があります。

他方、駐屯地が所在する小郡市をはじめ、朝倉市、筑前町、大刀洗町及び東峰村の2市、2町、1村の地域を小郡災害隊区として、災害発生時にはその初期段階から当該地域に対し支援を実施することになっています。

小郡災害隊区の地形的特性は、北は三郡（さんぐん）山地、西の脊振（せふり）山地、南の耳納（みのう）山地に囲まれ、九州の暴れ川と称された筑後川とその支流によって歴史的に水害が数多く発生しています（図 小郡災害隊区の地形的特性）。

昭和に入ってから、筑後川とその支流で



図 小郡災害隊区の地形的特性



写真-1 昭和28年の水害発生時の状況



写真-2 昭和38年の水害発生時の状況

ある宝満（ほうまん）川で水害が発生、昭和28年には保安隊が出動（写真-1）、昭和38年度は約160名の隊員を派遣し、橋の架設やボートによる救助活動を（写真-2）、また、平成24年の水害時には隊員54名を派遣して

ボートにより45名を救出する等、救助活動を実施しました。

その他、第5施設団は地震災害派遣活動にも参加し、最近では、平成23年の東日本大震災や平成28年の熊本地震災害派遣に参加



写真-3 熊本地震に伴う災害派遣状況  
（南阿蘇地区における行方不明者捜索）



写真-4 熊本地震に伴う災害派遣状況  
（南阿蘇地区における道路補修のためのダンプ作業）



しました。特に熊本地震では、油圧ショベルをはじめとした多数の施設器材をもって道路啓開、人命救助、行方不明者の捜索及び震災瓦礫の除去等の活動を実施しました。この際、自衛隊の施設器材だけでは不足したため、自治体が借り上げた建設機械を現地まで民間会社に推進して頂き、派遣活動を実施しました(写真-3、4)。部隊では保有する施設器材が限定的である一方、操作要員は多数育成しております。この度の災害派遣では、これらの機械の借り上げにより、部隊の能力を最大限発揮させることができました。



写真-5 大量の流木による道路寸断状況  
(福岡県東峰村)

師団からの派遣命令に基づき、朝倉市及び東峰村に対して災害派遣活動を開始しました。自治体のニーズに基づき、警察、消防、消防団と調整・協力し、第4師団等の増援を受け、その活動を実施しました。主要な活動の内容は、人命救助及び行方不明者の捜索並びに物資輸送であり、そのためボートやヘリによる行方不明者の捜索・救助のほか、地上からの孤立者の救助、捜索活動及び道路啓開を実施しました。

#### (2) 福岡県東峰村での災害派遣活動の概要

東峰村は道路寸断のため村全体が孤立状態でした。このため、県道211号の南側と北側からバケットローダや油圧ショベルを投入し道路を啓開しました。当初は車両が1台程度通れる道路開通を優先し、以降道路拡幅する等段階的に実施しました。7月6日(木)0600頃には南側から東峰村役場までの道路を開通することができました。早期に車の通行を可能にすることができたことから、孤立者を比較的早期に救助できました。行方不明者捜索活動においては、啓開した道路により部隊の現地進入が比較的容易となり、7月12日(水)には宝珠(ほうしゅ)山付近の集落で最後の行方不明者を発見することができました。

#### (3) 福岡県朝倉市での災害派遣活動の概要

一方、朝倉市では発災後数日は依然として

多くの住民の安否について、情報が錯綜していました。しかしながら、徐々に情報が整理され、被害の全体像が明らかになりました。また、天候回復に伴いヘリによる救助が進捗し、発災から約3日後には孤立者の救助がほぼ完了しました。その後は行方不明者の捜索を重視した活動に移行しました。行方不明者の多くは、被害が大きな赤谷川とその支流である乙石(おといし)川に集中していたため、第5施設団としては九州各地から逐次増援された派遣部隊をもって、赤谷川流域に人力と機械力を集中しました。当面は行方不明者の自宅住所周辺を集中的に捜索、その後、7月15日(土)に実施した赤谷川及び筑後川の集中捜索以降は、捜索範囲を、赤谷川及び筑後川の下流を含んだ地域まで拡大し捜索活動を継続しました。(写真-6、7、8)

7月24日(月)、朝倉市は自衛隊、消防、警察による人力を主体とした行方不明者の捜



写真-6 油圧ショベル等を使用した行方不明者捜索のための道路啓開状況(福岡県東峰村)



写真-7 行方不明者捜索のため、赤谷川上流への施設器材の進入状況(福岡県朝倉市星丸地区)

索活動から、民間の建設機械による復旧活動へ活動の重点を変換しました。これをもって自衛隊としての人命救助及び行方不明者捜索活動を終了しました。

7月25日(火)以降は、第4師団が入浴・給水・給食支援等の民生支援を継続して担任・実施するとともに、第5施設団は、赤谷川流域の2次災害発生への恐れがあったため、いつでも人命救助できる態勢で施設器材を推進できるが如く駐屯地において即応態勢を保持しました。8月20日(日)、福岡県知事から災害派遣撤収要請を受け、災害派遣活動を終了しました。

#### 4 平成29年7月九州北部豪雨での災害派遣活動における建設機械の運用状況等

##### (1) 建設機械の運用状況

本派遣の特性は、非常に多くの土砂と流木が発生し、その量は、流木で約20万tとの推計となり、国内最大規模といわれています(福岡県HPによる。)。このため、本災害派遣において使用した主要な建設機械は、油圧ショベルであり、その用途は、行方不明者の捜索のための流木及び土砂等の除去に使用しました。また、自衛隊で借上げを要望した油圧ショベルは最大20台/日に上りました。第5施設団としてはこれら油圧ショベルを効率的に配分し、行方不明者の捜索活動を推進するべく、日々、自衛隊の部隊間での調整のほか、朝倉市の災害対策本部主催の会議にお



写真-8 グラブプルを使用した行方不明者捜索のための流木の除去(福岡県東峰村)





写真-9 チェーンソーを使用した行方不明者捜索状況 (福岡県東峰村)



写真-10 レンタルの油圧ショベルを使用した行方不明者捜索状況 (福岡県朝倉市山田地区)



写真-11 行方不明者の捜索のためのダンプ作業 (福岡県朝倉市志波地区)



写真-12 投光器及び排水ポンプを使用した夜間の捜索活動状況 (福岡県朝倉市林田地区)

いて警察、消防及び消防団との調整を実施しました。このほか、第5施設団としては油圧ショベルのアタッチメントであるグラップル10基、チェーンソー（歯長50cm）40台を、自治体を通じ借上げて頂きました。（写真-9、10、11、12）

## （2）災害派遣活動における建設機械の借上げの意義等

今回の災害派遣を通じ明らかとなった建設機械の借上げの意義については次の3点です。

ア 自衛隊の保有する施設器材を数的に補充することができること

部隊の保有する施設器材には限りがありますが、レンタルをすることにより一時的にはあるもののその数量が増加することにより、より多くの活動を実施することができます。

イ 現地で調達が可能であり、かつ、輸送所

要が軽減できること

災害派遣の特性上、約3日間（72時間）が人命救助・救出のリミットになるため、速やかに部隊を派遣し救助にあたる必要があります。このため、現地で調達することにより、器材を輸送する為の所要を節用でき、その分の隊力を人命救助に運用することが出来ます。本災害派遣では、当初は自衛隊が保有する施設器材を派遣地域へ推進するとともに、部隊の増援等状況の進展に応じて不足する建設機械を逐次借上げ、民間会社により現地まで輸送してもらい人命救助等の活動にあたりました。

ウ 活動の特性に応じ柔軟性をもった運用が可能であるということ

レンタル会社の保有する建設機械には、自衛隊が保有していない多種多様な機械があります。これらを運用して派遣活動を実施することにより、多くの活動・ニーズに

対応することができます。例えば、東日本大震災においては、津波による河川や水路が多くの土砂やガレキにより埋没しました。このため、二次災害防止及び環境衛生上の問題点から、河川や水路の排水機能を復旧することが必要となりました。よって、地盤が軟弱な水路内で使用できる特殊な油圧ショベルをレンタルした実績があります。

## （3）災害派遣活動における建設機械の借上げの問題点等及び今後の課題

他方、次のような問題点もあるため、対策を講じる必要があります。

ア 借り上げる建設機械の情報の共有にすること

災害の規模及び自衛隊の活動要領により、災害発生地域以外から建設機械を所要の台数確保しなければならない状況も予想されます。このため、日頃から借り上げ可能な建設機械の種類及び数量について把握しておく事は迅速な調整を容易にし、限られた人命救助の時間を有効に活用するためにも重要です。今災害派遣では、地方での限定的な被害であったため、補給統制本部より西部方面総監部を通じて部隊へ情報提供を受けることができたとともに、自治体を通じた建設機械の借り上げ調整が行える状況でした。しかしながら、今後予想される甚大な災害に備え、レンタル協会との合意書を元に自衛隊が保有する施設器材の代替となる建設機械の保有情報を相互に共有し、迅速な借り上げが可能となるよう、引き続き情報共有に関して連携することが必要です。

イ 借り上げた建設機械の整備に関すること

自治体が借り上げた建設機械は、自衛隊による整備及び給油・給脂を実施することができません。このため、昼夜を問わず建設機械を動かす際は、夜間においても整備が実施できるよう調整を実施しておく必要があります。本災害派遣では、事前に故障

発生時の調整を実施し、民間会社による整備を迅速に実施して頂いたため、不可動となる建設機械がなく円滑な人命救助及び行方不明者の捜索活動を実施することができました。

ウ 借り上げた建設機械の操作に関すること  
特殊な機械は普段、自衛隊員が操作していないため、その操作要領を修得するまで時間がかかります。このため、その操作に熟知した建設業者の支援を受け操作要領を学んだり、事前にその操作要領について把握しておく必要があります。

## 5 おわりに

今回は、平成29年7月九州北部豪雨災害における陸上自衛隊の災害派遣活動と建設機械の運用について、第5施設団の派遣活動の概要とともに紹介させて頂きました。

平成29年は、日本全域において約50年に1度の大雨と称される「記録的短時間大雨情報」が例年になく数多く発表され、水害の多い年となりました。また、大規模地震やその他の災害の増加に伴い、災害対処が更により重要になりつつあります。自衛隊は我が国の平和と安全を保つため我が国の防衛を主たる任務として、日頃の訓練で培った部隊の能力や、保有する部隊の装備品を駆使して、災害派遣にあたっているところです。

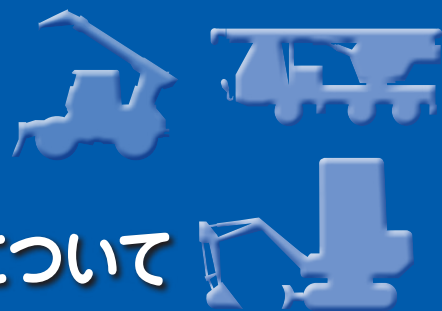
これらの任務達成のためには、建設機械の借上げは非常に有効な手段となっています。引き続き、部隊等との緊密な連携をよろしくお願い致します。

本投稿により、会員の皆様方の自衛隊に対してのご理解の一助となれば幸いです。



● 寄稿

## 情報化施工対応 アスファルトフィニッシャについて



住友建機株式会社  
技術本部道路機械技術部

溜池 晃志

### ・アスファルトフィニッシャにおける MC

アスファルトフィニッシャにおいては40年以上前から AGC (Auto Grade Control) 装置と呼ばれる2D-MC (2D Machine Control) の技術が永らく使用されてきた歴史がある。

そのため現在殆どのアスファルトフィニッシャは電磁ソレノイドバルブでレベリングシリンダを上下するシステムとなっており、AGCが発する上げ下げの電気信号で直接制御できるようになっている。

### ・情報化施工への取り組み

近年、ICT (情報通信技術) を用いた施工技術である情報化施工の導入によって、建設施工が直面する生産性向上、品質確保、安全性向上、熟練労働者不足といった多くの課題に対応することを目的とした、i-Construction の取り組みが国土交通省主

導で進められている。

アスファルトフィニッシャにおいてもその対応として、2D-MC を発展させた3D-MC 装置が各機器メーカーにより開発され既に広く使用されている。

### ・アスファルトフィニッシャの情報化施工

アスファルトフィニッシャにおける3D-MC とは、位置計測装置を用いて機械の現在位置情報を計測し計測された施工箇所との3D設計データと、同時に測定した現舗装高さデータとの差分に基づき、左右のレベリングシリンダに指令を出して所定の舗装高さとなるよう自動制御するシステムである。

位置の計測方式には、GNSS (汎全地測位航法衛星システム) を用いるものと自動追尾式 TS (Total Station) を用いるものがある。

GNSS方式では複数の衛星電波を受信することで位置情報を取得するが、そのまま

は誤差が大きいため基地局と機械に設置された移動局との間で無線により誤差を補正している。

また高さ情報は別途設置したゾーンレーザーにより mm 単位の高さ計測を行っている。

1台のゾーンレーザーを複数の装置で同時に使用できるのが特徴である。

一方、TS方式では機械に設置したプリズムを自動追尾式 TS で追尾し、位置情報と高さ情報を同時に高い精度で計測する。

トンネル内等の衛星が見通せない現場でも使用が可能であるが、1つのプリズムに対して1台の自動追尾式 TS を準備する必要がある。

いずれの方式においても既存の2D-MC用コネクタに接続するだけで使用可能となっている。



情報化施工風景

### ・情報化施工のメリット

オペレータによる機械本体の走行・ステアリング操作に合わせて舗装高さ調整が自動化されることで作業の容易化が図れる。

また連続した3次元の設計データを基準と使用することで丁張等の事前準備も不要で、より精度の高い舗装が実現できる。

野球場やグラウンドと言った広くて複雑な勾配がある現場では、特にその効果を発揮する。



グラウンド施工風景

### ・当社の情報化施工への対応

情報化施工の導入が始まり早10年近くが経過し、既に多くの当社機に取り付けられて実際に使用されているが、今後ますます幅広い現場で使用されることが見込まれるため、これまで使用されてこなかったお客様の新規導入や、使用する現場に応じて異なるアスファルトフィニッシャ間での機器使い回しをご要望される事例が増えていくことが予想される。

当社としては各機器メーカーに対応した脱着と接続が容易に行えるようにするブラケットや配線をオプションとして最新機種に設定し、これらのご要望にお応えできるよう準備を進めている。



最新機種HA60W-10への取り付け状況



# 登録制度等の検討に関する 中間報告について

登録制度特別委員会

## はじめに

本協会では、建設機械レンタル業界の社会的地位向上のため、新たな登録制度、資格制度の創設を検討しており、平成26年2月に組織活性化推進委員会が取り纏めた答申書において「レンタル企業の登録制度等の検討とそれに向けた努力」を行うことを提言して以降、さまざまな取組みを実施して参りました。

平成29年5月には、登録制度特別委員会が設置され、以来、月1回ペースで具体的な制度のあり方の検討を進めて参りました。このたび、これまでの検討の経緯と登録制度特別委員会における検討の状況について中間報告をさせていただきます。

なお、この中間報告は会員の皆さんの本件に対する理解を深めるために（案）の段階で掲載しております。従いまして、登録制度及び新資格制度の内容につきましては、現在鋭意検討を進めている最中であり、成案を得るまで変更される可能性がある事をご承知置きください。

## 登録制度創設の背景・目的

建設機械レンタル業界は、社会資本整備や災害復旧等における直接の担い手である建設企業を顧客とし、その使用する建設機械の6割以上を供給するまでになり、今やレンタル機材なくしてインフラ整備等の国土開発はないと言っても過言ではありません。

一方で、建設機械レンタル業界は、営業規制がなく、参入障壁の低い業態であることによる優良品業者と不適格業者が混在する状況になっています。また、ユーザーであるゼネコン等からの値下げ圧力や市場飽和を原因とする業者間競争の激化によるレンタル単価の低下、少子高齢化の進展に伴う担い手である人材の確保・育成など様々な課題を抱えています。さらには、営業拠点での環境、職場でのコンプライアンスへの要求が高まり、事業存続には良き企業市民であることが求められています。

「地域社会に貢献し、共生する営業所」「良質で安全なレンタル機械器具の提供」等に努めるとともに、“信頼される業界”に向けた取組が求められている中で、本協会では、登録制度を創設することに致しました。

目的	建設機械レンタル業界の社会的地位向上のため、 1. 顧客から信頼されるレンタル拠点の運営 2. 良質で安全なレンタル機材の提供 により顧客への便宜を図ること
----	---

図1 登録制度設置の目的

## 過去における登録制度創設に向けた取組

本協会は、過去にも登録制度創設に向けた取組みを行って参っています。昭和45年に発足した建設機械レンタル協会の前身団体である全国建設機械リース業連合会は、結成の目的に、賃貸料金の是正・耐用年数の適正化・登録制による業者の資質向上を掲げました。

以降、行政に対し登録制度に関する要請活動を継続して参りましたが、昭和49年の公益法人化を経て、昭和52年度からは登録制度創設に関する要望の強化に取り組みました。その結果、昭和60年度には建設省（現国土交通省）の重点施策に「建設機械器具賃貸業界に対する登録規程の制定」が取り上げられ、検討が始まりました。この中で、登録の人的要件として有資格者（管理技術者）の設置を求める方向であったことから、昭和62年、協会として「建設機械器具賃貸業管理技術者試験制度」を立ち上げました。

建設省との協議では、公共工事における測量、地質調査及び設計図作成（建設コンサルタント）の契約は、国等が関与する部分が多いが、レンタル契約は国等が関与することがなく、登録制度への法的根拠の構築が難しいため、建設機械レンタル協会が「建設機械器具賃貸業管理技術者－試験－業者登録事務」を実施し、この方式をシステムとして大臣が認定する案が検討されておりました。

このような中、昭和63年、建設省側から『管理技術者試験制度の大臣認定は進めるが、業の自主登録制度の大臣認定は、省として先例がないため、ある程度の検討期間が必要』との判断が示され、これ以降の登録制度への取組は頓挫することになりました。

## 建設機械レンタル協会のこれまでの取組

本協会は、新たな登録制度及び資格制度の創設に向け様々な取組みを実施して参りました。平成26年2月の組織活性化委員会の答申を受けて、平成26年の流通委員会の業務内容には「登録制度導入の検討」が加えられ、同委員会の中で検討を開

始しました。平成28年度には、流通委員会において「業者登録制度の基本的枠組み」について引き続き検討することとされ、平成29年度には、登録制度と新たな資格制度の早急な実現のため、また詳細設計や具体的な実施体制を検討するため登録制度特別委員会を設置し、月1回の検討を実施しています。

検討状況は、各種専門紙等（産業機械新聞・レンタル情報・日本工業経済新聞・溶接新報・橋梁新聞・かいほう等）で定期的に公開・報告し、本協会の会員の皆様への周知を図って参りました。

これまでの検討の経緯	
平成 26 年 2 月	組織活性化推進委員会が取り纏めた答申書において「レンタル企業の登録制度等の検討とそれに向けた努力」を行うことを提言
平成 26 年 役員改選期	流通委員会の業務内容に「登録制度導入の検討」を加え、同委員会による検討を開始
平成 27 年度	5 月理事会及び 7 月常任理事会・支部長合同会議において、流通委員会報告として「登録制度の検討状況」について報告
平成 28 年度	流通委員会において「業者登録制度の基本的枠組み」について引き続き検討 教育研修委員会に設置されたテキスト改定臨時委員会においてテキストの見直し検討
平成 29 年度	登録制度と新たな資格制度の早急な実現のため、詳細設計や具体的な実施体制を検討するための「登録制度特別委員会」設置を決定
平成 29 年 5 月～	登録制度特別委員会の設置、月 1 回の開催

図2 これまでの検討の経緯

## 登録制度の要件

具体的な登録制度の要件については、国交省が所管する建築・土木関係を中心とする他の登録制度の要件を踏まえて設定します。登録の単位は、事業者（法人、個人）単位とし、主には、「人的要件、財務的要件、誠実性要件、品質確保要件」の4項目について、それぞれ要件を設定する方向で検討しています。

人的要件については、新たに創設する資格制度「建設機械レンタル管理士」を専任として営業所ごとに求める方向で検討しています。

財務的要件については、法人、個人問わず、自己資本が500万円以上であることを求める方向で検討しています。

誠実性要件については、申請前2年以内に社会的不正または著しく不当な行為をしていないこと、暴対法に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者でないこと等を誓約書にて提出させる方向で検討しています。

品質確保要件については、建設機械整備技能士や可搬形発電機整備技術者等一定の整備力を備えた人材の配置が望ましいとして、任意に求める方向で検討しています。

## 登録制度の要件イメージ

### 【人的要件】

- 営業所ごとに、建設機械レンタル管理士を専任として1名以上置くこと。

### 【財務的要件】

- 法人、個人問わず、自己資本が500万円以上であること。

### 【誠実性要件】

- 申請前2年以内に社会的不正または著しく不当な行為をしていないこと。
- 暴対法に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者でないこと 等。

### 【品質確保要件】

- 保有レンタル機材の点検整備ができる組織、人材を確保していることが望ましい。

図3 登録制度の要件（案）

## 新資格制度創設の背景・目的

建設機械レンタル業界の地位向上と質的向上を図り、ユーザーからの信頼を得るためには、有用な人材の確保育成が極めて重要であり、とりわけレンタル業務運営の中核となるべきレンタル拠点の長（営業所長）のレベルアップが喫緊の課題となっています。

そこで、今般、昭和62年から平成13年度まで実施していた「建設機械器具賃貸業管理技士制度」に代わる、建設機械レンタル業全般にわたる業務知識や管理能力等の幅広い能力を備えた人材確保の観点から、新たな資格制度（民間資格）「建設機械レンタル管理士」を創設することに致しました。

### 目的

建設機械レンタル業全般にわたる業務知識と管理能力を備えた人材確保のため

図4 新資格制度設置の目的

## 過去における資格制度創設に向けた取組

登録制度と同様に、資格制度についても、過去に創設に向けた取組みを行っています。

昭和62年、登録制度に伴う人的要件としての資格者として、また、中小企業近代化促進法に基づく、第一次構造改善計画（昭和59年4月～昭和63年度末）において、レンタル業の近代化の目標を達成するため、その業務運営の中核となるべき中堅幹部等の育成が示されたことから「建設機械器具賃貸業管理技術者試験制度」が創設されました。同制度は、登録制度における有資格者としての役割は果たせなかったものの、人材育成事業として平成2年10月、「建設機械器具賃貸業管理技術者試験制度」は建設大臣認定を受け、名称も『建設機械器具賃貸業管理技士』となりました。

この資格制度の目的は、建設現場における施工法や安全確保に関する基礎的技術



をはじめ、契約約款、原価管理、関係諸法令等本業全般に亘る技術力と管理能力を備えた人材の育成にありました。

その後、平成12年の行革推進本部規制改革委員会の勧告に基づき、国の方針として、公益法人等が行っている事業認定制度は、平成13年度以降、法令に基づかないものは推薦・認定を行わないとの閣議決定がなされたことにより、本制度は、平成13年3月29日付の国土交通大臣告示により廃止されました。

大臣認定制度が廃止されたことに伴い、本協会独自の認定制度として実施することは困難となり、中止することとされ、平成14年度に「建設機械器具賃貸業管理技士の永久登録化」を決定し、現在に至っています。しかしながら、昭和62年度から平成12年度の間、5,501名の管理技士資格者（うち、永久登録者2,016名）を輩出し、業界の人材のレベルアップに大きな役割を果たしたことは間違いありません。

### 新資格制度の概要

新資格取得には、テキスト（資格制度の導入とあわせて作成）による一定の講習と一定の認定試験の実施を求めます。講習及び試験の実施については、e-ラーニング（パソコンを利用して、インターネットなどの手段を通じて行う学習形態）と会場型 CBT 試験（ITによりネットワーク化された全国数百会場のテストセンターにおいて、コンピューターで試験を実施）の導入を想定しています。これにより、年間を通じた受講・受験が可能となり、利用者の利便性の向上が図られます。

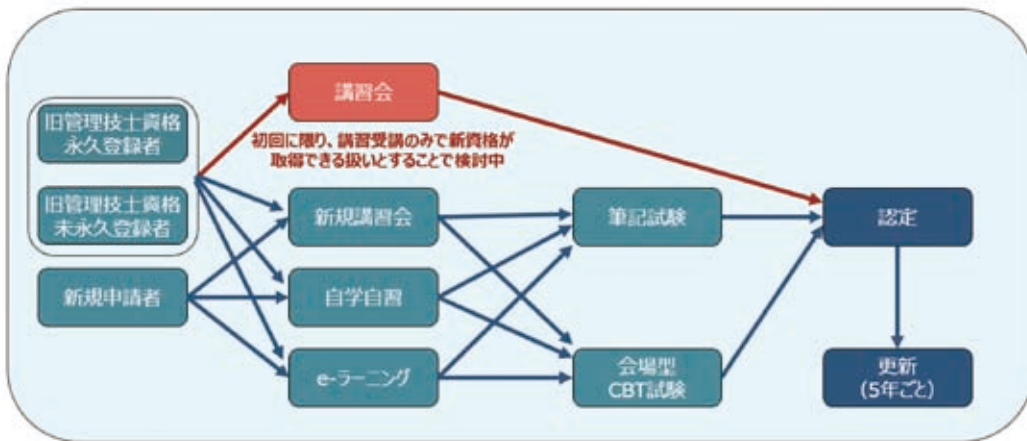


図5 新資格制度の認定の流れ（案）

### 講習テキストの作成

資格制度の導入検討とあわせて講習テキストの編集も行っています。講習テキストには、レンタル拠点の所長が備えるべき建設機械レンタル業務に必要な最低限の知識と考えられる事柄を整理します。

また、昨今の建設機械レンタル業を取り巻く社会環境の変化（「生産性革命」「i-Construction」など）にあわせて「就業規則」「コンプライアンス」「内部統制・監査」などの内容も収録し、企業研修の資料や社内の資格認定にも使用して頂ける充実した内容になっています。

大項目	中項目
1. 建設機械器具賃貸業の概要	範囲、沿革、レンタルのメリット・デメリット レンタルにおける流通経路 資格制度・業者登録制度
2. 建設機械器具賃貸業の実務	機械化施工の積算 機械経費の概要 機械損料、機械賃貸料
3. 建設機械器具の運営管理	建設機械器具の一般事項 主な建設機械器具 建設機械器具の維持管理と検査 経年仮設機材の管理（技術基準）
4. 建設機械器具賃貸業の経営と財務	財務分析 レンタル標準契約
5. 建設機械器具賃貸業における労務管理	就業規則（服務規律・労働時間）
6. 建設機械器具の安全管理	安全対策、リスクマネジメント コンプライアンス、法規 内部統制・監査
7. 建設機械器具賃貸業に関する関係法令（本編と法令編の2分冊を予定）	

図6 テキスト構成（案）

### 概略スケジュール

登録制度の要件に、「資格制度（建設機械レンタル管理士）」の取得を求めることから、今年度講習テキストの内容を固め、平成30年度10月以降にまず資格制度の運用を開始します。

その後、資格の取得が広まってきた段階で、登録制度を導入する予定です。

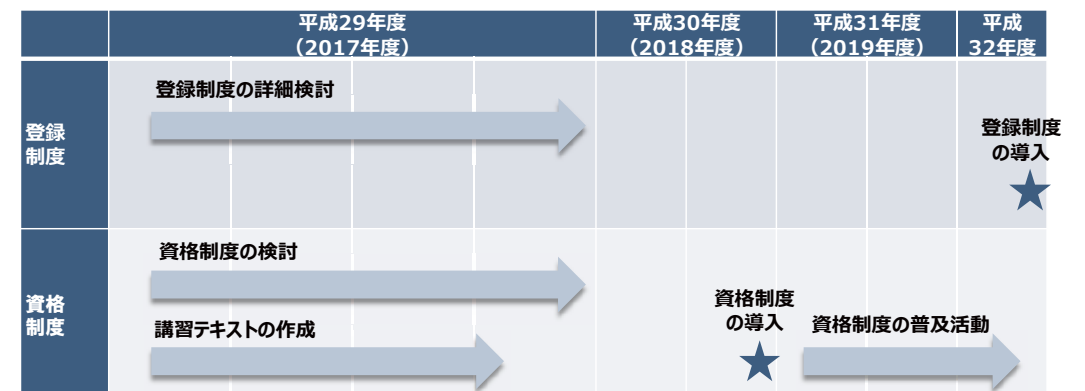


図7 概略スケジュール（案）

以上



## お知らせ

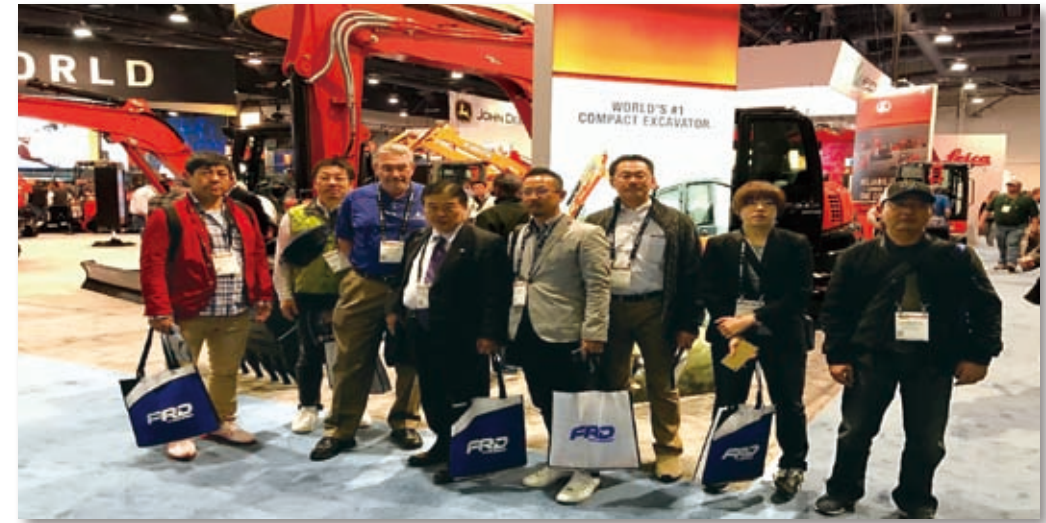
### 「CONEXPO-CON/AGG (コネクスポ) 2017」(米国・ラスベガス) 視察研修 報告 (2017 (平成29) 年3月4日 (土)~3月9日 (木))

当協会では、海外研修事業の一環として、世界の建設機械及び施工技術の事情視察、会員間の結束強化等を主目的に、米国・ラスベガスで開催された国際的な建設機械の展示会「CONEXPO-CON/AGG (コネクスポ) 2017」(2017 (平成29) 年3月4日 (土)~3月9日 (木) (4泊6日)) の海外視察研修を実施いたしました。メンバーは、全国の会員・賛助会員から参加を募り、合計で16社20名での実施となりました。(視察団団長：角口会長、副団長：藤本副会長)



世界三大建機展の一つであるこの展示会は、約26万平方メートルという広大な土地を有するラスベガスコンベンションセンターで3年ごとに開催され、約170カ国2,800社以上が出展し、約130ヶ国から約13万人が来場しました。視察日は、天候にも恵まれ、青空の下、海外の建設機械及び施工技術、サービスを見聞できたことは、今後の我が業界にとっても、大変有意義で充実した経験でした。また、今回は、特に ICT 建機の展示ブースも目につきました。ドローンを用いた測量・現場管理方法や VR (Virtual Reality : 仮想現実) を操作する体験ブース等、施工現場の生産性を向上させる技術や作業者の安全を考えた建機の支援システム等が新製品として発表されており、従来の建機に対して新たな付加価値と技術を体感することができました。全体的に過密スケジュールでの行動でしたが、参加者全員、無事に帰国の途につきました。

※視察の様子





## JCRAスーパーオークション報告

当協会の主催する JCRA スーパーオークションは協会の健全な中古機械器具流通の活性化と適正な流通を図る事を目的に平成25年9月より開始されました。

2013年9月の第1回開催から2017年11月までの4年間で計57回開催致しました。

また、2017年6月は第50回記念開催と致しまして会員向けに景品進呈のイベント開催を実施しました。

2018年につきましても1月と8月を除く毎月開催とし年17回開催を予定しております。

### ★ JCRA スーパーオークションの特徴

#### ① 3部構成のオークション

- 第1部 商談市場（オークション正会員専用市場）
- 第2部 オープンオークション（国内・海外のバイヤーが参加）
- 第3部 流札機市場（流札された機械の後商談市場）

#### ② 事務局のフォロー体制が充実

出品手続き、成約、代金決済、落札後の回送手配なども、取引経験豊富なオークション事務局がフォロー致します。

#### ③ なんでも出品出来ます。

建設機械・道路機械・産業機械・環境機械・車両系・部品等、協会の皆様が  
お取り扱いの商品は出品可能です。ご不明な点はお問い合わせ下さい。

### ★ JCRA スーパーオークションの結果報告

#### 第40回～第57回（2016.12～2017.11）

2016年12月から2017年11月の期間で18回開催致しました。

#### ※ 出品・成約状況（18開催計）

【出品】	参加社数計	出品台数	昨年同期間実績
協会員	77社	861台	706台
外部参加者	52社	615台	487台
合計	129社	1,476台	1,193台

【成約金額】	成約金額	成約単価	成約台数
協会員出品	113,545,000円	4,367,115円	26台
外部参加者出品	9,490,000円	1,898,000円	5台
合計	123,035,000円	3,968,870円	31台

※ 昨年成約単価 協会員3,393,277円 外部1,498,214円  
協会員出品の高年式、高額機械が成約された。

### ★ JCRA スーパーオークション事務局のサービス

#### ① オークション出品機械指定ヤードの増設

ヤードから出品される商品は、オークション事務局による検品を経て出品されます。  
統一された検査基準で機械の状態を明確に表記し、会員が安心して入札出来る体制を強化しております。

従来の神奈川（川崎市）千葉（野田市）に加え2016～17年は北海道（苫小牧市）  
名古屋（東海市）神戸（神戸市）福岡（糟屋郡）に開設致しました。

#### ② 販売力の向上を図る為、他オークション会社と提携。

・現在は協会員向けに国内オークション会社3社への出品代行サービスを行っております。2017年7月からは JEN 社と連携し、出品代行サービスを開始致しました。

・更に JEN 社の協力の下、関東地域以外の協会員向けにオークション出品や売買の仲介サービスのご案内の営業活動を開始致しました。

#### ③ 協会員売却機械の売買仲介サービス。

オークション入札会員向けに機械の情報提供を行い、売却の仲介を行っております。現在、月間約100台の売却情報を入札会員に提供しております。

今後とも、正会員・賛助会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

★ 不明な点、ご要望等、JCRA スーパーオークション事務局までお気軽にお問合せ下さい。

#### 【お問合せ窓口】

株式会社 ALM JCRA スーパーオークション事務局  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-4-3  
TEL：03-5937-4581 FAX：03-5937-4991



## 当協会 宇都宮昭憲 元副会長・常任理事 が黄綬褒章を受章

平成29年建設事業関係功労ならびに団体事業功労者として、平成29年秋の褒章で当協会の宇都宮昭憲 元副会長・常任理事（長浜産業株式会社）が『多年にわたり、建設機械事業の業務に精励するとともに、関係団体の役員として、業界の発展に寄与した功績』により、黄綬褒章を受章されました。宇都宮氏は、当協会で副会長等の要職を歴任され、現在は、常任理事の他、中国支部長も兼務されており、業界の発展に多大な貢献をされてきたことが評価されました。

なお、今回の国土交通省関係の褒章受章者は、藍綬褒章2名、黄綬褒章72名、緑綬褒章3名・9団体、合計77名・9団体で、去る平成29年11月14日（火）に国土交通省10階共用大会議室において伝達式が行われ、その後、皇居にて拝謁式が執り行われました。



（受章者：宇都宮昭憲 氏（長浜産業株式会社）（左）と御令室（右））

## 平成29年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について

2017（平成29）年7月10日（月）今年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰の表彰式が国土交通省10階共用大会議室で行われ、当協会の高野 泰行 常任理事（前北陸支部長、株式会社高野工会）と原 茂 常任理事（長野支部長、株式会社原鉄）が「多年建設機械業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与した」ことにより受表彰されました。

平成29年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰は、218名3団体が受表彰しました。表彰式では、石井 啓一 国土交通大臣より、賞状と記念品が授与されました。

※建設事業関係功労 218名

（部門別内訳）

収用委員会等委員 13名	都市計画事業関係 21名
建設業関係 85名	河川事業関係 6名
不動産業関係 32名	道路事業関係 8名
測量事業等関係 11名	住宅・建築事業関係 35名
建設機械関係 6名	建設行政関係 1名
他 優良団体 6団体	



高野 泰行 氏（株式会社高野工会）（左）と 原 茂 氏（株式会社原鉄）（右）



## 協会ホームページについて

会員企業、賛助会員企業の皆様、また、ホームページをご覧くださいすべての皆様に協会や業界の最新情報をより早く、分かりやすく発信するために新法人移行を機に協会ホームページを全面リニューアルいたしました。今後もさらに内容の充実を図ってまいりますので、何卒ホームページをご覧くださいませようよろしくお願いいたします。特に会員ログインページには、会員様ならではの情報を掲載しておりますので、一般ページと合わせてご覧くださいませようよろしくお願いいたします。(会員ログインページのID・パスワードがわからない場合は、協会本部事務局(TEL 03-3255-0511)までお問い合わせください。)

URL <http://www.j-cra.org/>

※現在の協会ホームページ



## 会員証の追加発行について

新法人に移行したことを機に協会の会員証(ボード)を発行いたしました。

「(一社)日本建設機械レンタル協会の会員であること」を証明するとともに、会員企業の信頼・信用構築の一助となり、社会に対して信頼される証となることを目的としております。平成25年12月に1社1枚無料で配布させていただきました(その後の入会会員には入会年に無料配布させていただきました)が、その後複数枚以上ご希望の会員様は1枚あたり¥8,640-(税込・送料込)にて作成いたしますので、ご希望の節は、下記所定の事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

※会員証サンプル



記

..... 会員証追加注文書 .....  
(この用紙をコピーしてご使用ください。)

※追加注文をご希望の方は、下記所定の事項をご記入の上、切り取らずにこのままFAXをお願い申し上げます。

(なお、製作期間として2週間程度頂戴いたしますので、ご了承ください。)  
代金のお支払い等につきましては、発送時にご案内させていただきます。

**申込先 FAX 03-3255-0513**

追加注文枚数	枚
会員番号(会員証に記載されている10桁の番号)	
会社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
TEL	—
FAX	—
E-MAIL	



## 関係省令記事

### 国土交通省

平成29年12月28日  
総合政策局公共事業企画調整課

### 第3次排出ガス対策型建設機械の指定等について

国土交通省では、建設現場の作業環境の改善、機械施工が大気環境に与える負荷の低減を目的として、第3次排出ガス対策型建設機械の型式指定を行い、当該建設機械の普及促進に努めています。今回、平成29年12月28日付で、別表1に示すとおり8型式の建設機械の指定を、別表2に示すとおり1型式の原動機の認定を行いました。

上記型式指定は、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」（平成18年3月17日付国土交通省告示第348号）及び「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成18年3月17日付国土交通省大臣官房技術審議官通達）に基づき、平成18年から実施しているものです。

#### ◆【第3次排出ガス対策型建設機械指定状況】

		前回まで	今回分	累計
第3次排出ガス対策型建設機械	型式数	698	8	706
第3次基準値適合の排出ガス対策型原動機	型式数	77	1	78

指定建設機械、認定原動機（エンジン）及び認定黒煙浄化装置の指定・認定状況は国土交通省のホームページへ掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei\\_constplan\\_tk\\_000006.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000006.html)



(別表) 排出ガス対策型建設機械

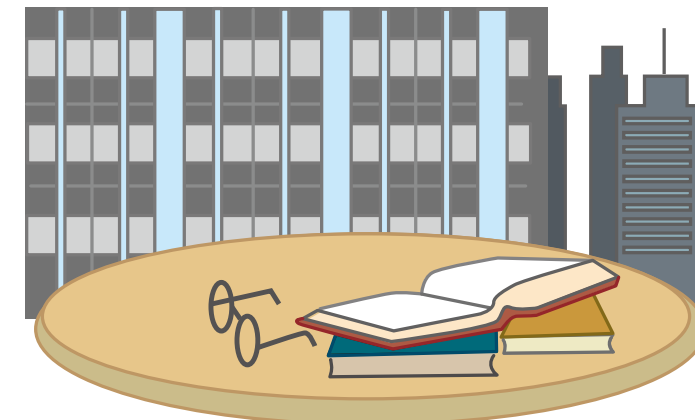
指定番号	建設機械の名称	建設機械の型式	申請者
3 - 699	発動発電機	SDG45S-3B2	北越工業(株)
3 - 700	発動発電機	DCA-45LSKB2	デンヨー(株)
3 - 701	空気圧縮機	DIS-400VPB	デンヨー(株)
3 - 702	パイプロハンマ(単体)	12VM-YTJ(油圧ユニット300-YTJ)	(株)トーメック
3 - 703	パイプロハンマ(単体)	20VM-YTJ(油圧ユニット500-YTJ)	(株)トーメック
3 - 704	グラウトポンプ	SG-400EⅢ-1	(株)ワイビーエム
3 - 705	小型バックホウ	30VZ4	(株)KATO HICOM
3 - 706	ホイールローダ	R430M	(株)クボタ

別表1

(別表) 排出ガス対策型原動機

認定番号	原動機の名称及び型式	申請者
3-78	キャタピラー C1.1	Perkins Shibaura Engines(Wuxi) Co., Ltd.

別表2



低騒音型・低振動型建設機械の指定について

国土交通省では、建設工事に伴う騒音・振動対策として、騒音・振動が相当程度軽減された建設機械を低騒音型建設機械及び低振動型建設機械として指定を行っております。今回、平成29年12月28日付で、別表に示すとおり低騒音型建設機械として52型式、低振動型建設機械として1型式の指定を行いました。

上記型式指定は、低騒音型建設機械及び低振動型建設機械の利用を促進し、もって建設工事の現場周辺の生活環境の保全と建設工事の円滑な施工を図ることを目的として定めた「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年建設省告示第1536号)に基づき、平成9年から実施しているものです。

◆【低騒音型・低振動型建設機械指定状況】

		前回までの指定	今回指定	累計
低騒音型建設機械	型式数	6,153	52	6,205
低振動型建設機械	型式数	29	1	30

指定建設機械の一覧は国土交通省のホームページへ掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei\\_constplan\\_tk\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000003.html)



別表(低騒音型建設機械)

指定番号	機種	型式	諸元				申請社名	
6154	ブルドーザー	D37PXI-24	運転整備質量	9	t		(株)小松製作所	
6155	トラクターショベル	WA100-8	山積容量	1.3	m <sup>3</sup>	平積容量	1.1 m <sup>3</sup>	(株)小松製作所
6156	トラクターショベル	R430M H	山積容量	0.4	m <sup>3</sup>	平積容量	0.3 m <sup>3</sup>	(株)クボタ
6157	トラクターショベル	R430M R	山積容量	0.4	m <sup>3</sup>	平積容量	0.3 m <sup>3</sup>	(株)クボタ
6158	トラクターショベル	R430M C	山積容量	0.4	m <sup>3</sup>	平積容量	0.3 m <sup>3</sup>	(株)クボタ
6159	トラクターショベル	R430M AC	山積容量	0.4	m <sup>3</sup>	平積容量	0.3 m <sup>3</sup>	(株)クボタ
6160	トラクターショベル	S450	山積容量	0.36	m <sup>3</sup>	平積容量	0.30 m <sup>3</sup>	GELEEC(HK) Limited
6161	トラクターショベル	S530	山積容量	0.45	m <sup>3</sup>	平積容量	0.33 m <sup>3</sup>	GELEEC(HK) Limited
6162	トラクターショベル	ZW100-6	山積容量	1.3	m <sup>3</sup>	平積容量	1.1 m <sup>3</sup>	日立建機(株)
6163	トラクターショベル	ZW120-6	山積容量	1.5	m <sup>3</sup>	平積容量	1.2 m <sup>3</sup>	日立建機(株)
6164	バックホウ	ZX400R-6	山積容量	1.5	m <sup>3</sup>	平積容量	1.1 m <sup>3</sup>	日立建機(株)
6165	バックホウ	HD514MR-7	山積容量	0.50	m <sup>3</sup>	平積容量	0.39 m <sup>3</sup>	(株)加藤製作所
6166	バックホウ	HD514MRLC-7	山積容量	0.50	m <sup>3</sup>	平積容量	0.39 m <sup>3</sup>	(株)加藤製作所
6167	バックホウ	HD823MR-7	山積容量	0.80	m <sup>3</sup>	平積容量	0.58 m <sup>3</sup>	(株)加藤製作所
6168	バックホウ	HD823MRLC-7	山積容量	0.80	m <sup>3</sup>	平積容量	0.58 m <sup>3</sup>	(株)加藤製作所
6169	バックホウ	30VZ4	山積容量	0.09	m <sup>3</sup>	平積容量	0.06 m <sup>3</sup>	(株)KATO HICOM
6170	バックホウ	SK55SR-6EF	山積容量	0.16	m <sup>3</sup>	平積容量	0.14 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6171	バックホウ	SK125SR-5	山積容量	0.45	m <sup>3</sup>	平積容量	0.35 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6172	バックホウ	SK135SR-5F	山積容量	0.50	m <sup>3</sup>	平積容量	0.38 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6173	バックホウ	SK135SRD-5	山積容量	0.50	m <sup>3</sup>	平積容量	0.38 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6174	バックホウ	SK210DLC-10	山積容量	0.80	m <sup>3</sup>	平積容量	0.59 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6175	バックホウ	SK210HDLC-10	山積容量	0.80	m <sup>3</sup>	平積容量	0.59 m <sup>3</sup>	コベルコ建機(株)
6176	バックホウ	320-H1	山積容量	1.0	m <sup>3</sup>	平積容量	0.76 m <sup>3</sup>	キャタピラー(株)同
6177	バックホウ	320GC-H1	山積容量	1.0	m <sup>3</sup>	平積容量	0.76 m <sup>3</sup>	キャタピラー(株)同
6178	ホイールクレーン	GR-130N-2	吊上能力	4.9	t	x	5.0 m	(株)タダノ
6179	ホイールクレーン	GR-130NL-2	吊上能力	13	t	x	1.5 m	(株)タダノ
6180	パイロハンマー	12VM-YTJ	起振力	0~700	kN	振動数	2300 cpm	(株)トーメック
6181	アースオーガー	GI-50C-5	オーガ出力	20.8	kW	掘削径	800 mm	(株)ワイビーエム
6182	振動ローラー	SW504	車両総質量	4.09	t			酒井重工業(株)
6183	アスファルトフィニッシャー	F45C5	舗装幅	2.35~4.5	m			範多機(株)
6184	アスファルトフィニッシャー	F45CJ5	舗装幅	2.0~4.5	m			範多機(株)
6185	アスファルトフィニッシャー	BP40W5	舗装幅	2.3~4.0	m			範多機(株)
6186	アスファルトフィニッシャー	HB2345C-5D	舗装幅	2.35~4.5	m			住友建機(株)
6187	アスファルトフィニッシャー	HA45C-10	舗装幅	2.0~4.5	m			住友建機(株)
6188	アスファルトフィニッシャー	HB40W-5D	舗装幅	2.3~4.0	m			住友建機(株)
6189	アスファルトフィニッシャー	SUPER 1303-3(4F)	舗装幅	1.8~4.5	m			ヴィルトゲン(株)
6190	コンクリートカッター	MCD-318HS-SGK	プレート径	25.4~45.7	cm			三笠産業(株)
6191	空気圧縮機	XRHS1150 CD	吐出量	29.6	m <sup>3</sup> /min	圧力	2.0 MPa	Atlas Copco (Wuxi) Compressor Co., Ltd.
6192	空気圧縮機	DIS-400VPB	吐出量	41	m <sup>3</sup> /min	圧力	1.27 MPa	デンヨー(株)
6193	発動発電機	DCA-45LSKB2	定格容量	45	kVA			デンヨー(株)
6194	発動発電機	SDG45S-3B2	定格容量	45	kVA			北越工業(株)
6195	発動発電機	SDG800S-3A6	定格容量	800	kVA			北越工業(株)
6196	発動発電機	HP1800SV-A1	定格容量	1.8	kVA			北越工業(株)
6197	発動発電機	EGW160M-I	定格容量	3.2	kVA	溶接機出力	3.74 kW	(株)やまびこ
6198	発動発電機	HPG16ie	定格容量	1.6	kVA			(株)ワキタ
6199	発動発電機	HPG2300iS	定格容量	2.3	kVA			(株)ワキタ
6200	発動発電機	HC2500-5	定格容量	2.0	kVA			(株)ワキタ
6201	発動発電機	HC2500-6	定格容量	2.3	kVA			(株)ワキタ
6202	発動発電機	MGC1001-A	定格容量	0.95	kVA			三菱重工業(株)
6203	発動発電機	MGC900GBA	定格容量	0.85	kVA			三菱重工業(株)
6204	発動発電機	MGC900GPA	定格容量	0.85	kVA			三菱重工業(株)
6205	発動発電機	MGC2200GA	定格容量	2.2	kVA			三菱重工業(株)

別表(低振動型建設機械)

指定番号	機種	型式	申請社名
V-0030	パイロハンマー	12VM-YTJ	(株)トーメック



## ストレスチェック制度って…？

### ～労働者のメンタルヘルスの不調を未然に防ぐために～

昨今、世間では、「働き方改革」が叫ばれています。長時間労働による過労死、自殺、メンタルヘルスの不調、パワハラ、過労死、いじめ等、働き手の心身の問題に加え、介護や子育てを理由にした働き盛り世代の離職等も喫緊の課題としてクローズアップされています。このことは、どの業界においても決して例外ではない状況かと思われそうですが、今回は、特に労働者のメンタルヘルスの不調を未然に防ぐため、2014（平成26）年の改正労働安全衛生法に盛り込まれた「ストレスチェック制度」について、説明させていただきたいと思います。

2014（平成26）年6月25日に改正労働安全衛生法が公布され、2015（平成27）年12月1日から、従業員数50名以上の事業所に対して、年に一度、従業員のストレスチェックの実施が義務づけられました。これが、いわゆる「ストレスチェック制度」というもので、労働者のメンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的として、労働者の心理的負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）やその検査結果に基づき、医師による面接指導の実施が求められています。この背景には、うつ病などの精神疾患による労働者の離職や自殺等が、大きな社会問題となっている実態があります。対象となる事業所では、年に1回以上、ストレスチェックを実施することが求められています。事業所ごとの適用となるため、複数の事業所を持つ企業では全社ルールを各事業所に適用したり、事業所ごとに個別に運用したりする等の対応が必要となります。また、従業員数が50人未満の事業所については、当面は、「努力義務」との位置づけがなされています。

ストレスチェックは、医師や保健師、または、厚生労働大臣が定める研修を受けた看護師、精神保健福祉士（ストレスチェック実施者）が行います。また、ストレスチェックによって「高ストレス者である」とストレスチェック実施者により認められ、労働者本人が面接指導を希望した場合には、事業者はこの労働者に対して、医師による面接指導を実施します。これらを通じて、労働者が自らのストレスについて気付き、ストレスを低減させるとともに、事業者が職場全体のストレス要因を知ることで職場環境の改善を目指します。

ストレスチェック制度の実施に伴い、厚生労働省は、この制度についての理解を促す情報提供のためのポータルサイト「こころの耳」(<https://kokoro.mhlw.go.jp/>)を開設し、事業者がこの制度を円滑に導入できるように、「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」の配布も始めました。

ストレスチェック制度は、メンタルヘルス不調の未然防止だけでなく、労働者のストレス状況の改善及び働きやすい職場の実現を目指して、生産性の向上にも繋がるものです。働きやすい・働きがいのある職場づくりが、やがてはその会社等において、労働者の仕事に対する意欲の向上や業績アップに繋がっていきます。

また、事業者がストレスチェックに用いる調査票としては、別紙の「職業性ストレス簡易調査票」を用いることが望ましいとされています。（次頁参照）

### ■ ストレスチェックの実施方法

（高ストレス者の選定）

○ 次の①又は②のいずれかの要件を満たす者を高ストレス者として選定するものとする。

- ① 「心理的な負担による心身の自覚症状に関する項目」の評価点数の合計が高い者
- ② 「心理的な負担による心身の自覚症状に関する項目」の評価点数の合計が一定以上の者であって、かつ、「職場における当該労働者の心理的な負担の原因に関する項目」及び「職場における他の労働者による当該労働者への支援に関する項目」の評価点数の合計が著しく高い者

実施者による具体的な高ストレス者の選定は、上記の基準で選定する方法のほか、選定基準に加えて補足的に実施者又は実施者の指名及び指示のもとにその他の医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、産業カウンセラー、臨床心理士等の専門職が労働者に面談を行い、その結果を参考として選定する方法もあります。この場合、その面談は、労働安全衛生法第66条の10第1項の規定によるストレスチェックの実施の一環として位置づけられます。

※労働安全衛生法第66条の10

第1項

事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師、保健師その他の厚生労働省令で定める者による心理的な負担の程度を把握するための検査を行わなければならない。

※参照

厚生労働省ホームページ

ストレスチェック等の職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策等

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>

この制度の趣旨を正しくご理解いただき、労働者のこころの負担が積み重なる前にメンタルヘルス不調を防ぎ、働きやすい職場環境を実現していただくことを願って止みません。

（精神保健福祉士 北條 雅己）



## 職業性ストレス簡易調査票（57項目）

### A あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	そ う だ	そ ま あ	ち や が う	ち が う
1. 非常にたくさん仕事をしなければならない	1	2	3	4
2. 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
3. 一生懸命働かなければならない	1	2	3	4
4. かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
5. 高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ	1	2	3	4
6. 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	1	2	3	4
7. からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
8. 自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
9. 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1	2	3	4
10. 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
11. 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	1	2	3	4
12. 私の部署内で意見のくい違いがある	1	2	3	4
13. 私の部署と他の部署とはうまが合わない	1	2	3	4
14. 私の職場の雰囲気は友好的である	1	2	3	4
15. 私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない	1	2	3	4
16. 仕事の内容は自分にあっている	1	2	3	4
17. 働きがいのある仕事だ	1	2	3	4

### B 最近1 か月間のあなたの状態についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	な ほ と ん ど	あ っ た と き ど き	あ し ば あ っ た ば	い つ も あ っ た
1. 活気がわいてくる	1	2	3	4
2. 元気がいっぱいだ	1	2	3	4
3. 生き生きする	1	2	3	4
4. 怒りを感じる	1	2	3	4
5. 内心腹立たしい	1	2	3	4
6. イライラしている	1	2	3	4
7. ひどく疲れた	1	2	3	4
8. へとへとだ	1	2	3	4
9. だるい	1	2	3	4
10. 気がはりつめている	1	2	3	4
11. 不安だ	1	2	3	4
12. 落ち着かない	1	2	3	4
13. ゆううつだ	1	2	3	4



14. 何をするのも面倒だ	1	2	3	4
15. 物事に集中できない	1	2	3	4
16. 気分が晴れない	1	2	3	4
17. 仕事が手につかない	1	2	3	4
18. 悲しいと感じる	1	2	3	4
19. めまいがする	1	2	3	4
20. 体のふしぶしが痛む	1	2	3	4
21. 頭が重かったり頭痛がする	1	2	3	4
22. 首筋や肩がこる	1	2	3	4
23. 腰が痛い	1	2	3	4
24. 目が疲れる	1	2	3	4
25. 動悸や息切れがする	1	2	3	4
26. 胃腸の具合が悪い	1	2	3	4
27. 食欲がない	1	2	3	4
28. 便秘や下痢をする	1	2	3	4
29. よく眠れない	1	2	3	4

### C あなたの周りの方々にについてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

	非 常 に	か な り	多 少	全 く な い
--	-------------	-------------	--------	------------------

次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか？

1. 上司	1	2	3	4
2. 職場の同僚	1	2	3	4
3. 配偶者、家族、友人等	1	2	3	4

あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか？

4. 上司	1	2	3	4
5. 職場の同僚	1	2	3	4
6. 配偶者、家族、友人等	1	2	3	4

あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらいきいてくれますか？

7. 上司	1	2	3	4
8. 職場の同僚	1	2	3	4
9. 配偶者、家族、友人等	1	2	3	4

### D 満足度について

	満 足	満 ま あ	不 満 足	や や 不 満 足
1. 仕事に満足だ	1	2	3	4
2. 家庭生活に満足だ	1	2	3	4



## すしの起源とは…。

普段何気なく食べているすし。街に行けば数多くのおすし屋さんが軒を連ねており、最近流行りの回転寿司のお店等は、並ばないと入店できないような繁盛店もありますよね。

「世界で初めてすしを握った人は誰だろう？」

「最初の寿司はどんなものだったのだろう？」等、

ふとそんなことを考えたことはありませんか？

というわけで、今回は、すしの歴史について紹介したいと思います。

### 【すしの歴史】

#### 1. すしの起源 なれずしの誕生

すしの始まりは、紀元前4世紀頃の東南アジアに遡ります。東南アジア山中の民族が貴重なタンパク質を補うため、豆や麦等の穀物を炊き込んだものに塩で味付けした川魚を漬けて発酵させた魚肉を保存したことが始まりだと言われています。つまり、すしは穀物の発酵を利用した魚肉保存の一方法から生まれました。

これは内臓を処理した魚を米飯に漬け込み、穀物の自然発酵（乳酸発酵）によって魚の保存性を高めた食べ物でした。このすしを「なれずし（熟れずし・慣れずし・馴れずし）」と呼び、数十日から数カ月たったところで魚を取り出し、食べるのは魚だけで米は捨てられていたようです。ちなみに、米は乳酸発酵によってでんぷんや糖質が分解されてドロドロの状態。また、乳酸菌によって酢酸が生成され、ビタミンと酸っぱさが加わった食べ物だったようです。

#### 2. 生成ずしへ

そのあと中国大陸に伝わり、8世紀頃の奈良時代に日本にも伝わります。この頃から日本でも鮎や鮒を漬けたなれずしが庶民に食べられるようになります。馴れずしでは米がドロドロに溶けしまっていました。米が好きな日本人は魚だけでなくご飯も一緒に食べるようになっていきます。

そして室町時代後期に出てきたのが「生成ずし（なまなれずし・なまなりずし）」です。これは、魚は半生で、米もまだ原型をとどめた生米の状態です。魚と米と一緒に食べるというものです。ここからすしは保存食から料理へと変わっていきます。

#### 3. 酢の誕生

安土桃山時代になると酢が作られました。これによって乳酸発酵による酸っぱさを酢で代用するようになっていきました。この時代からすしが大きく変わります。箱寿司（押し寿司）もこの頃に誕生し、素材も川魚から、鯛や鯖などに変わっていきました。漬けた魚はそれまでおかずでしたが、この時代から食事へと変わっていきました。

#### 4. 早ずしへ

江戸時代になると、ご飯そのものをおいしく食べるという日本独特の「早ずし」へと変わっていきました。早ずしとは、じっくり時間をかけて自然発酵させるものではなく、酢飯の上に魚を乗せ、それを笹などで包んで箱に並べ、重石を乗せて2～3日置くというものです。これまでの古寿司と比べれば早いのですが、即席の握り寿司に比べるとまだまだ時間がかかりました。また、この形態のすしは、日本各地でその土地の名産物として現在でも見受けられます。

#### 5. にぎりずしの誕生

江戸時代後期（1818～1830）、町には屋台を中心とする外食産業が軒を連ねていました。その中でその場で握って食べるという形態をすし商であった華屋与兵衛が考案し、「にぎりずし」が誕生します。また、「寿司」という当て字もこの頃に誕生したと言われています。

東京湾で捕れる魚介や海苔を使った寿司を「江戸前寿司」と呼ぶようになり、この頃から日本料理の技術である、酢の物（小鰭）や煮物（イカ・穴子）、焼き物（玉子）、蒸し物（鮎）、刺身（鮪・平目）などを酢飯と一緒に食べさせるということも思いついたと言われています。華屋与兵衛の改良により、その美味しさ、その簡便さが江戸市中の評判となってきました。

江戸時代から明治時代にかけてのすし屋は、屋台が中心であり、現在のように店を構えるようになったのは、もっと後のことです。桶にすしネタを入れ、担いで町の中で売り歩く「すし売り」という商売もありました。冷蔵庫の無い時代のことなので、殆どのすしダネは、酢に漬けたり、煮たり、しょう油に漬けたりと手加えられ、傷まないよう工夫していました。これが、今にも伝わる酢じめをした光り物や煮イカや煮ハマグリ、または鮪の漬けの原型です。すし屋の調理場が漬け場と言われるのは、このように醤油に漬けたり、酢に漬けたりする仕事を中心だったことの名残です。

#### 6. にぎりずしが全国区へ

1923年の関東大震災により、被災した東京のすし職人がそれぞれの故郷に帰ったことで、日本全国に広がっていきました。

#### 7. 戦争によりすし屋が増加

戦中・戦後の食糧難の時は、すし屋も店を閉めなくてはならなかったのですが、米1合で巻物も含んだすし10個と交換することが出来たといわれます。このことからすし屋は儲かるとの考えが芽生え、すし屋を営む人が増えていきます。また、この時のすしが1貫の大きさの基準であり、1人前の基準となっています。

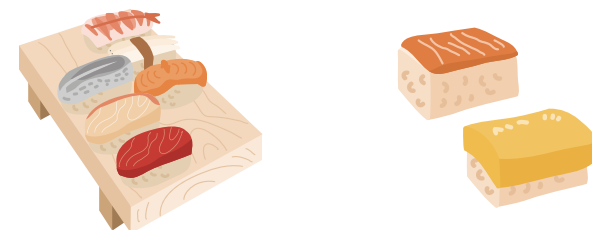
戦後は、屋台で生ものを扱うことが食品衛生法で禁止され、屋台を店の中に持ち込み、その店内でお客さんに食べてもらうスタイルに変わっていきました。

これは、屋台の形式をそのまま店の中で再現することとなり、これによって屋台の形式がカウンターとなっていきました。

#### 8. 現在

1980年代頃から、米国で魚と米で作ったすしは、健康に良い食べ物として第一次スシブームが起こります。この頃から Sushi Bar が米国内でも至るところで開店し、海外ですしが浸透していきます。また、日本でもすしロボットや回転寿司の登場により寿司は、大衆化していきます。

米国でブームとなった寿司は、更に波及し、現在では、世界中に広がっています。現地の人々に受け入れられるような様々な新しい寿司が誕生し、そのバリエーションは更に増え続けています。1980年代から約30年近くは海外でもSUSHIという看板を掲げるだけで、中身は全く別ものと言われるような料理がたくさん見られましたが、現在では、海外の人たちの舌が肥えてきたこともあり、本場のすしの味も求められるようになってきました。それに伴い、日本で修行して、技術を習得した寿司職人の需要も高まりつつあります。握りずしが誕生してから約200年経ちますが、今後、すしはどのように進化していくのか楽しみですね。



（事務局）

# 平成28年度 事業報告 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## 平成28年度 役員会・委員会等報告

開催日	時間	会議名	会場
4月6日(水)	13:30～15:30	総務委員会	WEB会議
4月22日(金)	15:00～17:00	会長・副会長会議	WEB会議
5月11日(水)	13:30～15:30	総務委員会	WEB会議
5月25日(水)	10:30～12:50	会長・副会長会議	TKP 竹橋
	13:00～15:00	理事会	TKP 竹橋
	15:10～17:10	第4回通常総会	TKP 竹橋
	17:20～19:00	懇親会	TKP 竹橋
6月9日(木)	19:00～21:00	会長・副会長会議	KKR ホテル東京
7月8日(金)	17:00～18:00	会長・副会長会議	WEB会議
7月15日(金)	11:00～12:50	会長・副会長会議	ホテルグランドヒル市ヶ谷
	13:00～16:00	常任理事会	ホテルグランドヒル市ヶ谷
7月25日(月)	12:00～16:00	教育研修委員会可発部会	KKR ホテル東京
7月27日(水)	15:30～17:00	流通委員会	WEB会議
9月7日(水)	11:00～12:50	会長・副会長会議	TKP 市ヶ谷
	13:00～14:20	常任理事会・支部長合同会議	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	流通委員会	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	教育研修委員会	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	総務委員会	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	広報企画委員会	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	i-Construction委員会	TKP 市ヶ谷
	14:30～16:30	管理技士講習テキスト改訂臨時委員会	TKP 市ヶ谷
9月26日(月)	13:00～15:30	会長・副会長会議	WEB会議
10月6日(木)	13:00～14:20	教育研修委員会可発部会	江戸東京博物館会議室
	14:30～16:30	教育研修委員会可発部会・講師との合同会議	江戸東京博物館会議室
10月13日(木)	14:00～16:00	本部賛助会員会議(広報企画委員会が召集)	TKP 市ヶ谷
10月19日(水)	12:30～16:00	広報企画委員会	TKP 神田
10月20日(木)	10:00～12:00	管理技士講習テキスト改訂臨時委員会	WEB会議

開催日	時間	会議名	会場
10月25日(火)	15:00～17:00	総務委員会	WEB会議
11月1日(火)	11:30～13:30	会長・副会長会議	TKP 永田町
	14:00～16:00	国土交通省との意見交換会	TKP 永田町
11月15日(火)	16:00～17:00	総務委員会	WEB会議
11月17日(木)	17:30～19:30	二階特別顧問との懇談会	ホテルグランドヒル市ヶ谷
11月24日(木)	11:00～12:30	会長・副会長会議	コマツIoTセンタ東京
	13:00～13:50	常任理事会・支部長合同会議	コマツIoTセンタ東京
	14:00～16:00	i-Construction説明会	コマツIoTセンタ東京
	16:00～17:00	ERA(独・Zeppelin Rental)との意見交換会	コマツIoTセンタ東京
12月2日(金)	13:30～15:30	広報企画委員会	WEB会議
	14:00～17:00	流通委員会	山東ビル会議室
1月17日(火)	11:00～12:45	会長・副会長会議	TKP 竹橋
	13:00～14:30	理事会	TKP 竹橋
	14:45～15:45	本部賛助会員PR会	TKP 竹橋
	16:00～17:30	賀詞交歓会	TKP 竹橋
1月18日(水)	9:30～11:30	流通委員会	山東ビル会議室
2月3日(金)	13:00～14:00	管理技士講習テキスト改訂臨時委員会内(メーカーWG)	協会本部事務所
	12:00～13:00	教育研修委員会可発部会	浅草ビューホテル
2月7日(火)	14:00～17:00	教育研修委員会可発部会・講師との合同会議	浅草ビューホテル
	16:00～17:00	総務委員会	WEB会議
2月9日(木)	13:00～16:00	流通委員会	山の上ホテル
2月21日(火)	13:00～16:00	流通委員会	山の上ホテル
2月22日(水)	10:00～12:00	管理技士講習テキスト改訂臨時委員会	WEB会議
	11:00～12:50	会長・副会長会議	TKP 市ヶ谷
3月16日(木)	13:00～16:00	常任理事会・支部長合同会議、意見交換会	TKP 市ヶ谷

### \*重点項目

- 全国組織の一般社団法人として求められる組織基盤整備の継続的取り組みと組織強化
- 建設機械レンタル業の社会的信用の確保・向上とユーザー保護等を図るため、本協会が創設しようとする「業者登録制度」に向けた、新たな資格制度の検討
- 行政庁・政府与党への要望・陳情及び行政庁(国土交通省等)との連携・協力の推進
- 国土交通省が推進する「i-Construction」への対応
- 社会資本整備やその維持管理及び災害復旧等への貢献による、建設機械レンタル業界の周知度と社会的地位の向上・確立
- 国・地方公共団体等が行う災害対策活動に関する協定の締結、災害支援活動への参加
- 人材の育成・確保及び良質・安全な建設機械器具を提供する観点から、資格取得を含めた各種教育研修事業を充実・強化
- 中古建設機械等の流通システムの構築・供用
- 会員共益事業の強化・発展
  - ◆会員企業社員の福利厚生の実施(企業年金基金加入促進等)

### 1. 事業活動

#### 一般事業

- 建設機械レンタル業の基礎データを得る統計資料の継続的収集と、これにより得られた統計データの外部発信
- レンタル契約時の標準約款である「建設機械等レンタル基本約款」の普及・啓発
- 組織運営における自己規律の確立と諸規程の改定・整備
- 環境問題への対策
- 友好団体との協調・連携等
- 会員福利厚生事業等の推進と日本建機レンタル総合賠償制度の普及促進
- 「信頼されるレンタル業界を目指して」を踏まえた諸活動の実施
- 各支部において、それぞれの地域の特色を活かした活動を推進するほか、地域社会の健全な発展に資する啓発活動・支援活動その他の社会貢献活動への取り組み
- 各委員会活動の活性化
- 平成29年度国土交通省関係税制改正要望にあたり、税制調査会並びに税制関係議員に要望書の提出(建設機械施工団体共同陳情)
- その他

#### ◆国際交流・海外視察

- ERA(ドイツ・Zeppelin Rental)との意見交換、レセプション
- 『bauma 2016』(ドイツ・ミュンヘン)視察研修
- 『CONEXPO 2017』(アメリカ・ラスベガス)視察研修

### 2. 各委員会活動等に関する事項

平成28年度は、(1) 流通委員会、(2) 教育研修委員会、(3) 総務委員会の3委員会に加え、新たな課題等への対応のため、(4) 広報企画委員会、(5) 「i-Construction委員会」の2委員会を新たに設置した。各委員会の所掌事務等は以下の通りである。

#### (1) 流通委員会

建設機械レンタル業に関わる流通問題の検討、流通調査・研究等の実施

- ◆「登録制度の基本的枠組み」の検討
- ◆建設機械等レンタル基本約款の普及促進
- ◆レンタカー貸渡代行業務基本契約書の作成
- ◆建設機械レンタル業の流通アンケート調査の実施、調査結果報告書の公表
- ◆業界のモデル就業規則の作成と会員へのファイルCDの配布
- ◆JCRAスーパーオークションの企画・開催
- ◆その他

#### (2) 教育研修委員会

- 建設機械及びレンタルに関わる様々な教育事業の企画・運営を行う。
- ◆可搬形発電機整備技術者養成講習会・試験の企画・運営(可発部会)
  - ◆可搬形発電機整備技術に関する講習会、可搬形発電機整備技術者資格試験及び同資格更新講習会等に関する方針、事業策定
  - ◆可搬形発電機定期点検済証票(可発ステッカー)等の普及促進
  - ◆建設機械整備技能士養成のための施策(技能士養成部会)
  - ◆管理技士資格の復活を含め、新規認定資格制度創設のための検討、「管理技士講習テキスト」の見直し・検討(管理技士講習テキスト改訂臨時委員会)
  - ◆建設機械器具レンタル業管理者教育講習会制度を推進し、人材育成を図る
  - ◆安全衛生教育(特別教育)の実施

#### (3) 総務委員会

- ◆業界データの収集及び情報公開(建設機械レンタル業実態調査の実施、調査結果報告書の公表・配布)
- ◆協会会員会費改定案の検討
- ◆協会内組織の整備(本部・支部)
- ◆建機レンタル総合賠償制度について(事故防止に向けての啓蒙活動)
- ◆国際交流関係事項
- ◆協会規程類の整備
- ◆他の委員会に属さない事項等

#### (4) 広報企画委員会

- ◆協会としての情報発信システムの確立
- ◆協会ホームページの管理・運用
- ◆会員及び国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の検討並びにその推進(機関誌「かいほう」の充実・強化、「かいほうNo.4」の編集、発行)
- ◆新規事業企画・運営に関する検討
- ◆災害対策・災害支援活動(災害対策組織図及び連絡体制策定に向けた検討)
- ◆旧組織活性化推進委員会答申に基づく協会の今後の方向性・ビジョンの具現化等

#### (5) i-Construction委員会

- ◆「i-Construction」(ICT技術の活用)についての普及促進(各地にて「i-Construction」講習会の開催)
- ◆人材育成についての普及促進
- ◆人材育成についての取り組み
- ◆i-Construction機器の普及促進策の検討
- ◆「i-Construction」に関する行政との連携・協力等



# 平成29年度 事業計画 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

昨年日本経済は、平成24年12月の安倍内閣の発足以来、「景気回復局面」と言われてきており、また、政府月例経済報告においても、「緩やかな回復基調が続いている」との基調判断が継続されているものの、個人消費の低迷が長引く中、景気回復の実感が乏しい状況にあり、年明け後も消費の回復は緩やかな動きになっています。このような中、建設機械レンタル業に直接関係する建設投資については、建設経済研究所が本年1月に公表した建設投資見通しによれば、平成28年度は、政府及び民間投資ともに前年度増を見込んでおり、対前年度比2.4%増の52兆1,900億円、平成29年度については、対前年度比0.7%減の51兆8,100億円を見込んで上回るところです。これらは何れも平成27年度を上回る水準であり、経営環境の好転が期待されることですが、一方で、レンタル業を取り巻く環境や課題を踏まえた、地道な経営改善や経営管理も求められています。

また、災害については、熊本地震・鳥取県中部地震等の地震災害、相次いだ台風7・9・10・11・16号による風水害等が発生しており、政府においては、気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害や、切迫する巨大地震等から国民の生命財産を守り、国土強靱化の取組を推進するため、防災意識社会への転換を図りつつ、ハード・ソフトを総動員した防災・減災対策を推進するとともに、戦略的なインフラ老朽化対策に取り組むこととされております。

このような状況にあって、建設機械レンタル業は、災害の未然防止、震災や台風などにより被災した地域の復旧・復興事業を直接担う建設企業が使用する建設機械の6割以上を供給しており、その果たす役割も重要度を増しております。さらに、災害時の復旧・復興には、会員が保有する建設機械や備品等が欠かせないことから、当協会は、求められる社会的責任と役割を果たす観点から、国や地域自治体及び関係機関との連携をさせていただきながら、このような災害に対する復旧・復興活動への支援並びに協力を積極的に推進してまいります。

他方、現状の建設機械レンタル業界には、(1) 営業規制がなく、参入障壁の低い業態であることによる優良事業者と不適格事業者の混在、(2) 建設機械レンタル業全般にわたる技術力と管理能力を備えた人材の確保、(3) 国土交通省が施策展開している、ICT(情報通信技術)の全面的な活用等の施策を建設現場に導入することにより、調査・測量から設計・施工・検査・維持管理・更新までの全建設生産プロセスにおいて抜本的な生産性向上を図る「i-Construction」への対応等、また、本協会として、(3) 会員及び一般国民への情報公開・情報伝達を一層推進する広報活動の充実、(4) 全国組織の一般社団法人として求められる組織基盤整備等々の課題があることから、業界の発展と社会的地位の向上、そして「信頼される業界」を目指し、これら諸課題に引き続き取り組んでまいります。

以上を踏まえ、今年度は下記の事業を重点として

推進いたします。

## \*重点項目

- 業界の社会的信用の確保と質的向上及び建設企業等のユーザーの便宜を図ることを目的として、本協会が自主規制としての取り組むこととしている任意の「建設機械レンタル業者登録制度」の創設と、本登録制度に併せた、建設機械レンタル業全般にわたる技術力と管理能力を備えた人材確保のための“新たな資格制度(民間資格)”の構築に当たり、その実施に向けた具体的かつ総合的な課題及び実施詳細の検討並びに態勢整備
- 国土交通省のi-Construction推進施策(とりわけICT施工)に対して、その普及促進を積極的に図るとともに、人材育成への取組及びi-Construction施工機器の供給に向けた普及促進策の検討
- 会員及び一般国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の一層の推進
- 全国組織の一般社団法人として求められる組織基盤整備の継続的取り組みと組織強化
- 国・地方公共団体等が行う災害対策活動に関する協定締結や災害支援活動への参加を推進するとともに、社会資本整備やその維持管理及び災害復旧等への貢献を通じた、建設機械レンタル業の周知度と社会的地位の向上・確立
- 行政庁・政府与党への要望・陳情及び国土交通省等の行政庁との連携・協力の推進
- 会員共益事業の充実・強化
  - ◆会員企業社員の福利厚生の充実(企業年金基金加入促進等)

## 1. 事業活動

### 一般事業

- 建設機械レンタル業の基礎データを得る統計資料の継続的収集と、これにより得られた統計データの外部発信及び活用
- 人材の育成・確保及び良質・安全な建設機械器具を提供する観点から、職務に関する関係資格取得を含めた教育研修事業の充実・強化
- 中古建設機械等の流通システムの構築・供用及びレンタル契約時の標準約款である「建設機械等レンタル基本約款」等の普及・啓発
- 組織運営における自己規律の確立と諸規程の改定・整備
- 「信頼されるレンタル業界を目指して」を踏まえた諸活動の実施に努めるとともに、その一環としての各支部における、それぞれの地域の特色を活かした活動や地域社会の健全な発展に資する啓発活動・支援活動その他の社会貢献活動への取り組み
- 平成30年度国土交通省関係等の税制改正要望に当たり、税制調査会並びに税制関係議員への要

望書の提出(建設機械施工団体共同陳情)

- 環境問題への対応
- 友好団体との協調・連携等
- 日本建機レンタル総合賠償制度の普及促進
- その他
  - ◆国際交流
    - 建設機械海外見本市への視察研修、GRA(グローバル・レンタル・アライアンス)との交流等
    - 〈参考:『INTERMAT』(フランス・パリ), 2018.4.23-4.28)

○協会運営を着実かつ円滑に遂行するため、次の会議を開催する予定である。

会議名	期日(予定)	開催地
第5回通常総会	平成29年5月23日(火)	東京
理事会	通常年2回開催予定 [必要に応じ、支部長会議との合同会議を開催]	東京
常任理事会	通常年2回開催予定	東京
会長・副会長会議	必要に応じて適宜開催予定	東京、WEB会議
各委員会 (詳細については、2.各委員会活動等に関する事項を参照)	必要に応じて適宜開催予定	東京、WEB会議

## 2. 各委員会活動等に関する事項

平成28年度においては、流通委員会、教育研修委員会及び総務委員会の3委員会に、広報企画委員会とi-Construction委員会が加わり、5委員会体制となっているが、平成29年度についても、引き続き現体制で活動を行っていくこととしている。なお、各委員会の所掌事務等は以下のとおりである。

また、上記の5通常委員会のほか、喫緊の課題である「レンタル業者登録制度」及び建設機械器具賃貸管理技士制度を土台とした「新たな資格制度」の創設に向けた、詳細設計や具体的な実施態勢等を検討するための臨時的な特別委員会(例:管理技士テキスト改訂臨時委員会)の設置を、別途行うこととしている。

### \*流通問題関係

#### (1) 流通委員会

- ◆建設機械レンタル業に関わる流通問題の検討、流通調査・研究
- ◆基本管理料制度の普及・導入促進
- ◆建設機械レンタルの流通に関するアンケート調査の実施
- ◆JCRAスーパーオークションの企画・開催 等
- 29年度の課題等
- 「建設機械等レンタル基本約款」の普及促進と

見直し、流通問題全般に関する検討等

### \*教育事業関係

#### (2) 教育研修委員会

- ◆建設機械及びレンタルに関わる教育事業企画・運営
- ◆可搬形発電機整備技術者養成講習会・試験の企画・運営
- ◆建設機械整備技能士養成施策の検討
- ◆管理者教育講習会に関する方針・事業策定 等
- 29年度の課題等
- 可搬形発電機整備技術者講習会制度の適正・確実な実施と、講習及び試験に係る事務実施態勢の継続的見直し並びに技能士養成の推進施策等

### \*会員会費改定検討、建機レンタル総合賠償制度、協会規程等への対応関係

#### (3) 総務委員会

- ◆業界データの収集及び情報公開
- ◆協会会員会費改定案の検討
- ◆協会内組織の整備(本部・支部)
- ◆建機レンタル総合賠償制度
- ◆国際交流関係事項
- ◆協会規程類の整備
- ◆他の委員会に属さない事項 等
- 29年度の課題等
- 大手広域14社の特別会費の支部配分等に関する見直し、平成29年度「建設機械レンタル業実態調査」の実施、支払率の上昇を踏まえた日本建機レンタル総合賠償制度への対応等

### \*広報、新規事業企画、災害対応、旧組織活性化推進委員会答申の具現化等の対応関係

#### (4) 広報企画委員会

- ◆協会としての情報発信システムの確立
- ◆協会ホームページの管理・運用
- ◆会員及び国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の検討並びにその推進
- ◆新規事業企画・運営に関する検討
- ◆災害対策・災害支援活動
- ◆旧組織活性化推進委員会答申に基づく協会の今後の方向性・ビジョンの具現化 等
- 29年度の課題等
- 災害対策組織図及び連絡体制策定に向けた検討、協会パンフレットの新規作成等

### \*i-Constructionへの対応関係

#### (5) i-Construction委員会

- ◆「i-Construction」(ICT技術の活用)についての普及促進・人材育成についての取組
- ◆i-Construction施工機器の普及促進策の検討
- ◆「i-Construction」に関する行政との連携・協力 等
- 29年度の課題等
- 建設業者にとっての生産性向上のパートナーとなることを目指した、会員への普及啓発活動の強化、国土交通省との定期的な意見交換等



# Letters From The Branch

## 支部だより

### ● 青森支部

青森支部長 気田 福俊

#### 中学生を対象とした「体験型現場学習会」について

2017（平成29）年10月13日（金）青森県十和田市の十和田市立四和中学校で中学生を対象とした「体験型現場学習会」が実施され、当協会青森支部が協力団体として運営参加いたしました。

「体験型現場学習会」とは、これまでは、高校生や大学生を中心に、建設業界の人材確保に向けた活動を実施してきましたが、近年の少子化・建設業離れが進んでいることから、さらに若い世代の好奇心旺盛な中学生を対象に、建設業に興味を持っていただくことを目的として実施するものです。当日は、建設機械試乗体験や測量体験、モルタルによる手形作り、ドローンによる集合記念写真撮影等が行われ、参加した中学生たちは、各班ごとに分かれて、工事概要の説明を受けた後、土木工事で活用している先端技術を体験学習しました。今回の体験学習を通して、建設業や建設関連業の魅力を知らせていただく絶好の機会となりました。

主催：国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所、  
（一社）青森県建設業協会

協力：(株)福萬組グループ、青森リース(株)、  
（一社）日本建設機械レンタル協会青森支部

日時：平成29年10月13日（金）13：30～15：40

会場：青森県十和田市立四和中学校 校庭

参加：十和田市立四和中学校 1年生8名・2年生13名 計21名



【建設機械試乗体験】



【高所作業車試乗体験】



【測量体験】



【モルタルによる手形作り体験】



## 「地域建設企業における ICT の活用（実践編）」研修会について

2017（平成29）年11月28日（火）弘前市の青森県武道館、29日（水）青森市男女共同参画プラザにて、「地域建設企業における ICT の活用（実践編）」研修会が（一社）青森県建設業協会と当協会青森支部の共催で開催されました。

研修会では、「県土整備部発注工事における ICT の活用について」、「（一社）日本建設機械レンタル協会の ICT の取組について」、「地域建設業における ICT の導入（実践編）」の3つのテーマについての講演が行われ、建設現場に ICT を導入する上で必要となる基礎知識や現況について学習しました。参加者は、2会場で総勢160名で同協会では今後、実機を使用した研修会を開催する予定です。

日 時：平成29年11月28日（火）、29日（水） 13：00～16：30

場 所：青森県武道館（28日（火））、青森市男女共同参画プラザ（29日（水））

次 第：13：00～13：30

「県土整備部発注工事における ICT の活用について」

青森県県土整備部 整備企画課

13：40～14：00

「（一社）日本建設機械レンタル協会の ICT の取組について」

／ 副会長・青森支部長 気田 福俊 氏

14：10～16：20（途中休憩）

「地域建設業における ICT の導入（実践編）」

日本キャタピラー合同会社

（（一社）日本建設機械レンタル協会青森支部）古里 真一 氏

16：20～16：30 質疑応答、情報提供（実機講習案内）

参加料：無料

主 催：（一社）青森県建設業協会、（一社）日本建設機械レンタル協会青森支部

後 援：（公財）建設業福祉共済団



【研修会の様子】



【講演した 気田福俊 副会長・青森支部長】



## ◎ 岩手支部

岩手支部長 高橋 悦見

岩手支部は平成29年5月の定時総会に於いて、岩手県建設機械リース業協会から名称変更していた岩手KR会との一本化が全会一致で可決され、一般社団法人日本建設機械レンタル協会岩手支部として本年度より新たなスタートを切っております。平成29年12月現在、正会員18社、賛助会員28社、計46社で構成され、年間事業としては、年3回の理事会、各地区での同業社会議、親睦ゴルフコンペ、新春講演会並びに新年交賀会を計画・実施しております。

### 親睦ゴルフコンペ

平成29年9月5日に、北上カントリークラブにおいて、21社23名の参加を頂き盛大に開催されました。本年度の結果は、優勝が(有)リース工業の藤原豊氏、二位が(株)電動舎の平賀靖彦氏、三位が東日本コベルコ建機(株)の加藤実氏となっております。毎年盛り上げを見せる親睦ゴルフコンペですが、来年度以降も継続して開催する予定です。

### 新春講演会並びに新年交賀会

平成30年1月27日に盛岡市のホテルルイズにおいて、新春講演会並びに新年交賀会が38社より63名の参加を頂き開催されました。講演会では国土交通省総合政策局公共事業企画調整課課長の勢田昌功氏を講師にお招きして、「国土交通省で取り組む i-Construction について」と題しご講演頂き、会員にとっては国の取り組みや方向性を知る大変貴重な機会となりました。昨年度は特に岩手県と宮城県において非常に大きい意味をもつ国家的大型プロジェクトである国際リニアコライダー計画についての講演会を開催するなど、毎年タイムリーなテーマで開催し、会員各社の知識向上の一助になっております。

### 鳥インフルエンザ発生時の協力体制の構築

岩手県は鶏肉の生産量が全国第3位であり、鳥インフルエンザが発生した場合の影響は計り知れません。平成29年3月に隣接している宮城県北部において鳥インフルエンザが発生し、21万羽が殺処分されました。通常、深夜より作業員百人単位で作業が開始されることから、大量の資機材を短時間でしかも深夜に納入する必要があり、当時は資機材対応の遅れが指摘されました。岩手支部は平成28年より岩手県との協議を開始しており、協定までは至っていないものの、十分にその存在を認知頂いております。現在、有事の発生時に対する協力体制を構築しているところであ

りますが、鳥インフルエンザに限らず、有事に対しての対応については、協会としての社会的役割をしっかりと認識し、積極的に協定の締結や協力をしていく所存であります。

最後になりますが、正会員・賛助会員各位の当協会へのご理解ご協力に対しましてこの場を借りて心より御礼申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



『講演会』

講師 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長 勢田昌功 氏  
演題 「国土交通省で取り組む i-Constructionについて」



『懇親会』

岩手支部 齊藤副会長 (株)イブキ産業 代表取締役) による挨拶



『懇親会』

住友建機販売(株) 直轄営業部 部長代理 澤慎吾 氏 による乾杯の発声



## ◎ 福島支部

福島支部長 久保田栄二

当支部の会員は、正会員44社、賛助会員27社です。福島支部に青年部があります。会員の皆様が一人でも多く参加できるように協会の活動計画を立て、活発に活動をしています。

また、会員各社社員の技術力向上のために建設機械整備資格取得に向けた講習会も毎年6月に実技及び学科講習を実施しております。

当支部は東日本大震災後、会員の企業の皆様とともに、復旧復興に努めてまいりました。

各企業の新入社員、中堅社員に向けた社内講習も大変だと考え、レンタル商品の出庫整備点検ポイント要点、NETIS' ICTの講習と社員に向けた講習会を年2回開催しております。

また、昨年より、青年部会では賛助会員のメーカー様へ現地工場見学を行っております。

昨年は、ヤンマー建機福岡工場様、東空販売様の工場視察並びに、熊本中央リース様へ見学に行きまして。

本年度は、台湾にある鶴見製作所様の台湾工場へ視察研修に行きまして。

各社独自で様々な工夫で生産性の効率と品質管理を行っており、我々会員各社が安心して貸出ができる商品だと改めて認識いたしました。

今後も福島支部では、会員企業と共に業界の発展とレベルアップの為に活動していきたいと思っております。



## ◎新潟支部

新潟支部長 (株)新潟まるよし 吉田健一郎  
 投稿者 新潟支部 事務局 佐藤亜希子

新潟支部は、正会員25社、賛助会員19社の合計44社で運営しております。年間事業としては、定期総会、親睦ゴルフ大会、忘年会、賀詞交歓会等を計画・実施しております。理事は、地場レンタル、広域レンタル、メーカー系レンタルより選出され、年4～5回の定期理事会および最近ではメール等を利用して情報交換等を行っています。

レンタル業界は潮目を迎えています。油圧ショベル等がファイナルの排ガス規制を迎えて、購入価格の上昇そして中古転売で収益をあげていくというスキームが壊れつつあり、今のような価格競争では各社が利益を上げて行くことは難しくなります。

そこで、平成29年度は株式会社レンタルのニッケン 取締役常務執行役員 寅太郎様を講師にお迎えし「レンタルディスカッション」と題して「レンタル業界や営業している中での問題点」を共有し解決していこうという取組みを行いました。第一部では「レンタル営業のノウハウについての講演」「Yes, But から Yes, If の時代へ」、第二部では「グループでのディスカッション」「値引きの無い営業をするには？」どのような対応をすれば良いのか」についてグループに分かれて熱い討議が行われました。

25社43名の方にご参加いただき、「今後の営業活動に活かしたい」「自身のスキルアップに繋がった」「他社との接点は重要であり情報の共有ができた」と大変好評な感想をいただき、有意義な研修会となりました。今後とも、会員様と情報交換を重ねて、このような企画を実行して参りたいと考えています。



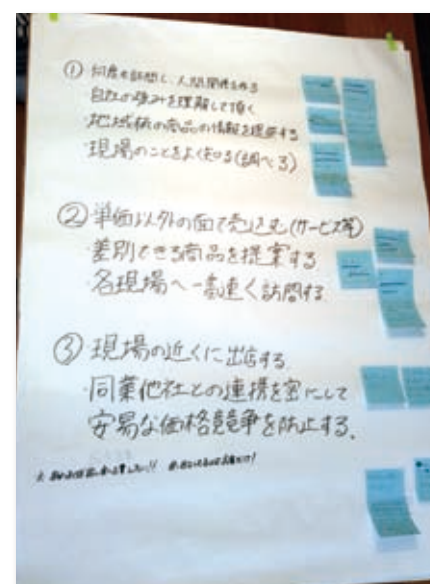
皆さん真剣に聴いています



熱心に講義をして頂いている寅常務



グループディスカッションでの結果発表



受注には営業力、商品力、適応力が必要です



## ◎ 群馬支部

群馬支部長 中川 秀敏（レントリー新潟株）

群馬支部の平成29年度活動として最も重きを置いて活動をしている事は、国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所との災害協定であります。月1回の定例情報交換を目指しており、本年度からは高崎河川国道事務所内の防災に関する組織が一段と強化されました。

当支部においても災害時の連絡網をより強化するように要請されました。例年、災害訓練を行っておりますが、支部会員にはより災害時の危機感を持って訓練を行いたいと思います。

また、当支部は情報化施工にも力を入れており、ICT 委員会を立ち上げ、コマツさんに委員長、キャタピラーさん・コベルコさん・住友さん・日立さん4社に副委員長になって頂き、賛助会員にも測量機器メーカー・ICT 測量会社が加わって頂きました。

情報化施工の講演等は現在まで関東地方整備局から1回、高崎河川国道事務所1回、コマツさん1回、キャタピラーさんの実演会1回の計4回行いました。

11月2日は北陸地方整備局主催の『けんせつフェア北陸 in 新潟』にてThe “i-Con” ショーを見学し、各建機メーカーの新 MC 機械・UAV を視察して来ました。

更に、本年度は当支部のホームページ（<https://g-cra.com/>）を作成しました。ホームページ利用して会員様をより多くアピール出来るようにして行きます。

また、会員交流事業として関東ブロック対抗ゴルフ大会の予選会を行っております。





## 東京支部

東京支部長 藤本 俊雄

東京支部が本部の会報に「支部だより」として寄稿するのは、新生日本建設機械レンタル協会が誕生した折の第1号に鬼丸前会長が支部の歴史や委員会・部会活動の紹介を中心に寄稿し今回が2回目となります。

東京支部は、東京、千葉、埼玉、茨城、(山梨)に本社・事業所が所在するレンタル会社を正会員とした178社と、建機レンタル業を支援する賛助会員61社の合計239社で組織されています。

支部エリアの1都3県の人口は約3千万人と日本の総人口のほぼ4分の1を占めており、日本経済の中心地として経済活動の規模も大きくここ数年人口の流入も続いています。その上2020年にはオリンピック・パラリンピックを控え、ますますの大きな投資が成され更なる1局集中が生じています。このような状況下、色々な課題はあるものの業界としてある程度の明るさも見えてきました。

東京支部は、「会員による、会員のための協会」「希望が持てる業界、魅力ある協会」を強く意識して運営しております。そのためには絶えずアンテナを広く張りめぐらし、会員が要望する講習会や勉強会の実施、ならびに経営をサポートする諸施策を精力的に展開するとともに、会員への間断ない情報提供を常に意識し実行しております。

ここで、特筆する取り組みにつきご紹介させていただきます。

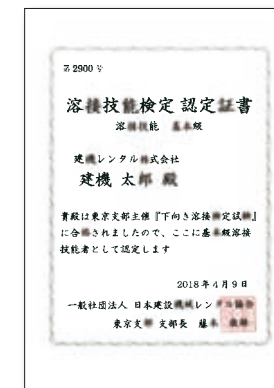
- 1、平成27年3月より東京・神奈川・栃木・群馬・長野・新潟の6支部間の連携を強化することにより各支部での更なる活動の活発化と情報の共有化を目的に「関東ブロック会議」を組織し、現在まで都合8回開催されております。これにより各支部での活動が活発化され共同事業も計画実行し、本年度は特に働き方改革への取り組みや月次点検料の完全徴収などの運動もブロックを挙げて展開しています。これにより徐々にですが、活動のレベルアップも目に見えるものとなってきました。
- 2、東京支部として全国に先駆け建機に貼付する「会員証」を作成し、希望する会員の建機や車両などに貼付されております。これは我々が協会員としての自負と責任を改めて自覚すると同時に非会員との差別化を図り、ユーザーからの絶大な信頼を得るためのツールとすることを目的にしています。この運動は現在、関東ブロックにも波及しております。
- 3、昨年度より「技能コンテスト」を実施しています。これは支部としての以前からの懸案事項でありましたが、社員の技術レベルの向上と技術の伝承を目的に検討を重ね、今回溶接技能(下向き溶接)として実施いたしました。昨年度の第1回は45名が挑戦、合格者は12名、合格率27%と大変難しいコンテストとなりました。合格者には「溶接技能者認定書」を発行し成績優秀者4名を今年度の定期総会時に表彰を行いました。合格者には大変な自信に繋がったものと思われま。今年度も12月より始まり、これには関東ブロック他支部からも10名が挑戦しています。
- 4、平成10年より「流通問題勉強会」を開催しており、回を重ね今年度第10回を迎えました。この勉強会ではその時々業界としての懸案事項や課題をテーマに取り上げ、会員参加のパネルディスカッションを主体に、時代の要請による外部講師の講演と合わせ開催しています。現在では東京支部として定期総会、

賀詞交歓会と並ぶ支部3大行事にまで位置づけられてきました。今年度は我々業界としても避けて通れない「働き方改革」をテーマで開催し好評を博しました。

東京支部は平成30年3月に設立50周年を迎えます。現在創立記念式典の挙行に向け実行委員会を立ち上げ着々と準備を進めております。まだまだ会員のため業界のためにやらなければならないことは山積していますが、22支部間で活発な情報交換が成され「より良い協会、魅力ある協会」と成るべく手を携えて参りたいと考えております。そのためにも協会本部のなご一層の支援と指導力を期待するところで

ここに今年度実施した事業をご参考まで上げさせていただきます。

- ・ 諸 会 議 等；理事会、正副支部長会議、常任理事会、総務厚生委員会、流通委員会、教育広報委員会、大型機械部会、賛助部会定期総会、賀詞交歓会、流通問題勉強会
- ・ 行 政 関 係；関東地方整備局意見交換会、関東地方整備局展示館協議会
- ・ 懇 親 行 事；ゴルフ会、社会見学会
- ・ 教 育 関 係；管理者教育、安全衛生教育、技能検定教育、商品講習、大規模現場見学会、社外講習受講支援、技能コンテスト、ICT研修、可発講習
- ・ 広 報 活 動；協会ニュース、会報、ホームページ
- ・ そ の 他；油種類共同購入、各種建機貼付ステッカ販売
- ・ 各地区協議会；各種勉強会、事業所研修、懇親行事



溶接技能者認定書



会員証



技能コンテスト表彰式



流通問題勉強会



## ◎長野支部

長野支部長 原 茂

長野支部は、正会員 22社 賛助会員 28社 計 50社の会員で、運営をしています。

主な年間行事は、全会員で行う、定期総会（5月）、賀詞交換会・勉強会（2月）と、役員会（年間4回開催）が主たるものとなります。

### ◎災害時応援協定

長野県内の公共団体（国、県、市町村）との、「災害時等における資機材レンタルに関する協定」の締結業務を推進しています。

「協定」の締結先は、国土交通省中部地方整備局（飯田国道事務所、三峰川総合開発工事事務所、天竜川上流河川事務所、天竜川ダム総合管理事務所）、長野県危機管理部、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、伊那市、茅野市、佐久市、塩尻市、中野市、小諸市、箕輪町、下諏訪町、富士見町、松川町、原村、（平成29年11月現在）となっています。

主な活動実績は、

- ①長野県北部地震（平成23年3月12日）  
震度6強 住宅 全壊33戸 半壊169戸
- ②長野県南木曾村土石流災害（平成26年7月9日）  
1名死亡 住宅 全壊10戸 半壊3戸
- ③御嶽山火山噴火（平成26年9月27日）  
58名死亡
- ④長野県神城断層地震（平成26年11月22日）  
震度6弱 住宅 全壊81戸 半壊172戸

等の、災害時等の資機材のレンタルを通して、ご協力をさせていただきました。



### ◎長野県総合防災訓練

毎年、長野県内各地にて、開催されている、「長野県総合防災訓練」に、長野県現地災害対策本部の1員として、参加させていただいています。

### ◎技術講習

正会員に対し、管理者教育講習や2級建設機械整備技能士取得のための講習会を、実施しています。

### ◎親睦行事

毎年、長野県内ゴルフ場において、正会員、賛助会員合同の親睦ゴルフコンペを実施しています。

また、定期総会、賀詞交換会後に、正会員、賛助会員合同の懇親会を開催しています。



## ◎ 静岡支部

静岡支部長 田島 潤一

静岡支部は、昭和47年に設立し現在、正会員22社、賛助会員19社が加入しており、総務委員会、流通委員会、技術教育委員会の3つの委員会を中心に活動しています。

流通委員会の活動として年2回、東部・中部・西部地区別に分科会を開催しています。各正会員の営業職が集まり、昼食を交えながら直近のお客様の動向、安全管理、コンプライアンスに係わる情報等について、活発に意見交換しています。

技術教育委員会の活動としては、建設機械整備技能士2級取得を目的として学科研修を開催し毎年30名程度の受講者が参加しています。

また営業職を対象として、9月にはi-Constructionの取組、推進などの研修を開催し50名の参加者の皆さんに実機による体験を実施しました。

総務委員会の活動としては、静岡県を始めとし、静岡市、小山町、伊豆市、焼津市、磐田市、長泉町、藤枝市、静岡建設業協会および清水建設業協会、(一社)静岡県解体工事業協会との災害協定締結を推し進めてきました。

特に、今年度は、災害協定締結から更に一步踏み出し、各建設業協会・静岡県石油商業組合との連携を組入れた災害訓練に参加、課題であった災害発生時の連絡方法・燃料確保にも道筋を見い出しつつあります。

その他にも、平成29年10月28日、静岡市および静岡県建設産業団体連合会の主催による「しずおか建設まつり」が開催され、国土交通省やNEXCO中日本、建設産業関係の団体が協力して出展し、静岡支部も建設展示試乗コーナーの担当団体として、高所作業車・タイヤローラー・掘削機・フォークリフト等出展し、正会員賛助会員60名が参加しイベントを盛り上げました。

このイベントは、建設業界全体を活性化させるため、はたらくクルマに興味のある未就学児から中学生くらいの子供とその親、建設業を目指す若者・女性を対象とし開催されました。

あいにく小雨の天候ではありましたが、静岡支部ブースには約1,000名ほどのご家族連れが来場されました。

普段近寄ることのできない建設機械に乗車を体験することなどで、もっと身近に感じていただけました。



皆様大変喜んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。「しずおか建設まつり」は昨年初めて開催され、静岡市民にも好評で、今後毎年開催される予定です。

静岡支部としては今後も静岡市や建設産業関連の団体と協力し、当協会のアピールと建設業の担い手確保、育成事業に協力していきたいと考えています。

会員の各社におかれましては、多くの販促品をご寄贈いただき、またスタッフとして多くの皆様に参加していただきましたこと、当誌面をお借りして御礼申し上げます。





## ◎ 中部支部

中部支部長 瀧 哲也

### 支部創立50周年を迎えて

当支部は、昨年9月に創立50周年を迎えました。

会員の皆様をはじめ、50年の歴史の中でご尽力いただきました諸先輩方、関係者の皆様のおかげで建設機械レンタルの市場は約1兆5,000億円となるまでに成長してきました。深く感謝申し上げます。

名古屋駅前のシンボリック的存在と言われる大名古屋ビルヂングが1965年（昭和40年）の竣工から約半世紀を経て新しく建替られ、一昨年3月にオープンしました。また、前回の東京オリンピック（昭和39年）と同じ年に開業した東海道新幹線も今年で54年となり、2027年の開通を目指したりニア新幹線（品川ー名古屋）の工事も着工されるなど社会全体も大きな転換期を迎えています。

日本では高齢化が進み、建設業の人手不足も深刻な問題となってきます。生産性を高めるためのICT（情報通信技術）を活用した建設機械やロボット、そしてパワーアシストスーツ等々の成長が期待される分野や、最近多発している自然災害への対応で地域社会に貢献していくことが協会活動として大切だと思います。

今後も会員各社の皆様のご理解とご協力をお願いします。  
会員皆様のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

（中部支部の歩み）

- ・1967年（昭和42年）9月23日に愛知・岐阜・三重の建設機械リース（レンタル）



会社15社で中部建設機械リース業協会を創立

- ・1970年（昭和45年）業界の諸問題を解決するために関東・中部・関西の協会が中心となって全国建設機械リース業連合会を創設
- ・1974年（昭和49年）建設大臣所管の社団法人として認可される。
- ・1983年（昭和58年）本部が名称を社団法人 全国建設機械リース業協会と改称し、中部も正式に支部となる。
- ・2013年（平成25年）公益法人制度改革に対応する為、従来の社団法人（特定民法法人）から一般社団法人へ。新法人名は一般社団法人 日本建設機械レンタル協会となる。



瀧支部長 挨拶



角口会長 挨拶



役員永年表彰式の様子



北野副会長 祝辞

## ◎ 関西支部

関西支部長 北野 一雄

関西支部は、平成29年4月1日をもって、近畿2府3県（和歌山、滋賀、京都、兵庫、大阪）の支部を統合し発足致しました（正会員160社、賛助会員90社）。

従来の各支部は、協議会として地域密着の事業活動を継続することと致しております。

関西支部の役員ならびに理事については、各協議会より、代表理事（1名）・支部長（1名）・副支部長（6名）を選出するとともに、総務部会、流通部会、教育部会、広報部会、ICT部会の5部会を設立し、理事（16名）の中より各部会長・副部長に就任担当して頂き、各部会事業の企画立案を実施いたしております。

なお、各部会の業務は次のとおりです。

（総務部会）役員会、理事会の日程案内、総会その他の事業管理等。

（流通部会）広域部会議（意見交換会）土木、建築、塗装、道路各部会に分かれての価格問題、補償料制度他適正価格の取組み。

（教育部会）可発講習会の実施対応。整備技能士育成講習の企画、管理者教育講習、メーカーによるプレゼンテーションの開催、実務者の交流会。

（広報部会）ゴルフコンペの開催、会員交流会の開催、会員名簿の配布、情報発信等々。

（ICT部会）ICT講習会、国交省（近畿地整）との交流、委員会参加講習会。

29年度は発足間もないため、7月と9月にコマツ製作所（コマツIOTセンタ 近畿）様のご協力を頂き、ICT講習会を開催し、第1回（68名）、第2回（72名）の参加があり、会員にとって有意義な講習会となりました。

また、11月16日には、ホテルモントレグラスミア大阪（大阪市）に於いて、国土交通省（近畿地方整備局）の「ICT推進について〈建設機械による情報化施工〉」についての講演と、住友建機販売・コマツ建機販売・日本キャタピラー・日立建機日本・コベルコ建機の各社様による、メーカープレゼンテーションを実施しました。特にプレゼンテーションは、ICTに関連したものであったこともあり、会員129名が受講致しました。加えて、近畿地整の講師の方も視聴頂き、大変参考になったと感想を頂いたプレゼン会でありました。

なお、平成30年1月22日には、大阪リーガロイヤルホテルに於いて、関西支部発足1期目の賀詞交歓会を（出席者250～300名見込み）開催いたします。

今後は、広域部会（大阪広域企業地場企業合同の情報交換部会）を計画しており、また、各協議会の事業の中より、関西支部で実施出来る事業については、支部において移行実施する計画です。

おわりに、全国各支部より情報を頂き、会員に有益な事業活動を行う所存ですので、今後共、関西支部にご協力の程よろしくお願い致します。



ICT講習会 北野支部長挨拶



ICT講習会 講演会風景



ICT講習会講師 国土交通省近畿地方整備局 中田育伺 様



中国支部工場見学視察会

日程：平成29年10月24日（火）～25日（水）

平成29年度の中国支部の行事として1泊2日の日程で、関西方面の工場見学視察会を実施致しました。正会員・事務局合わせて計27名が参加しました。

工場見学の訪問先は、(株)鶴見製作所京都工場及び(株)小松製作所大阪工場の2ヶ所で、いわゆる「モノづくり」の現場を直に自分の目で確認すること、そしてそこで感じたことを自社のヤードや業務に活かすことが目的です。

10月24日の午前9時20分に京都駅新幹線八条口改札前に集合、一人も遅れることなく全員が到着し、予定通り9時30分頃に京都駅を出発しました。

大型バスに乗車して、(株)鶴見製作所京都工場に到着し辻本社長様をはじめ大勢の鶴見製作所の社員さんの皆様にお出迎えを頂きました。

早速、会議室で会社概況と工場の概要説明を受け、工場見学のスタートです。

全体を2班に分けてゆっくりと見学させて頂きました。製品や部品をしっかりと管理されている大型の自動倉庫をはじめ、産業用や海外向け或いはリニア工事向けに製造された大型水中ポンプを中心に京都工場では付加価値の高いポンプをメインに生産されているとのことでした。

工場の各セクションでは、パネルや実演を交えて分かり易く説明して頂き、工場はもちろんのこと製品の優秀性など理解することができました。約1時間30分の工場見学の後、鶴見製作所の会議室で昼食を頂きました。御世話を頂いた社員の皆様



コマツ様 会議室

には昼休中の対応を頂き、素晴らしい「おもてなし」に申し訳なく思いつつもとてもおいしく頂戴しました。

12時40分頃(株)鶴見製作所の京都工場を出発、次の目的地であるコマツ大阪工場へと向かいました。

ここでもコマツ建機販売(株)三浦社長様をはじめ大勢のコマツさんの社員さんのお出迎えを頂き、本当に恐縮しました。

コマツ大阪工場は世界中にある生産拠点の「マザー工場」と言われるだけあって、さすがに広く(約55万㎡!)、工場見学のためにマイクロバス2台に分乗して工場敷地内を回るスタイルでした。ポイントとなる場所で下車してそこで生産ラインの説明を受けるという具合で大型建設機械を生産されている広い工場ならではの見学方法です。

バスの中および降車しての説明は女性の美人社員さんで工場の説明のみならず製品についてもしっかり勉強されていることが伺えました。

無駄のない生産ラインもそうでしたが、印象に残ったのは新製品の試作機の図面(CAD)から立体的な3Dシミュレーターを作り、いかにも実際に試作機に搭乗しているかのごとく体験できる設備があり、(特殊な眼鏡をかけて体験するのですが)体験している人の動きを見ているのがまた楽しく、とても興味深いものでした。

これらの設備は工場見学者へのサービスとしてだけではなく、先進技術で製品の設計内容の確認を行う設備としてしっかり機能しているとのこと“さすが”と思うばかりでした。

その他にもコマツ独自のグローバル販生コントロールセンターのご説明を頂き、さすがは『世界のコマツ! (・・・;)』と皆感嘆しておりました。

ここからは、宿泊先のホテルに直行し、夕食は工場見学した「鶴見製作所」「小松製作所」の役員・社員の皆さまが出席されて参加者と全員での合同懇親会となりました。

懇親会では、宇都宮支部長の発案で当日60歳の還暦を迎えられた鶴見製作所の辻本社長様の還暦のお祝いをサプライズで行い、参加した皆さん全員が大いに盛り上がりました。

懇親会までお付き合い頂いた鶴見製作所およびコマツの役員・社員の皆さま本当にありが



辻本社長の還暦のお祝い

とうございました。

翌日は、仕事の忙しい方はお帰りになりましたが、折角なので大阪の勉強もしようということで「あべのハルカス」に登って（もちろんエレベーターで）大阪の街を一望した後、大阪(梅田特設会場)花月に吉本興業のお笑いを見に行ってきました。かなりのビッグネームも登場し、参加した皆さんはとても満足できた公演だったと思います。

なにはともあれ、2日間の工場見学視察会と観光を終えて無事に帰路につきました。

皆さん大変お疲れ様でした。

【中国支部事務局 上野】

(株)鶴見製作所京都工場の皆様、また(株)小松製作所大阪工場の皆様、この度は大変お忙しい中をレンタル協会中国支部主催の工場見学視察会に対しまして御協力を頂き、誠にありがとうございました。

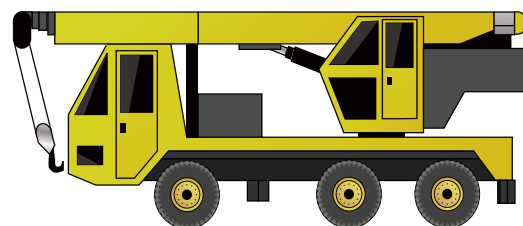
ツルミさんの水中ポンプにしてもコマツさんの大型油圧ショベルやブルドーザーにしても、生産される製品の1台1台が真心込めて設計され生産されていることを改めて感じました。

まさに汗と苦勞の結晶です。

あれだけ手を掛けられた製品に対して、建機レンタル業者はもっとその機能や付加価値を勉強したうえで、それなりのレンタル価格で市場に出さなければ罰が当たる思いがしました。

ご両社の益々のご発展を祈念申し上げます。

【中国支部長 宇都宮昭憲】



コマツ様正面にて集合写真



鶴見製作所様にて集合写真



鶴見製作所様 会議室



## ◎九州支部

九州支部長 中野 登

九州支部は九州内の7県（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、宮崎）で構成されており、支部の事務所は福岡県福岡市に置いています。各県単位に県部会を設けており、支部全体で行う事業と各県ごとに行う事業を織り交ぜて活動しています。

九州支部では九州地方整備局、九州電力との間で九州全体として災害協定を結んでいます。また県部会では県や市の単位で鳥インフルエンザや家畜防疫のためなど、各自治体の農林畜産関係の部門と協定を結んでいます。

世界津波の日に合わせて行われている大規模津波防災総合訓練が今年は11月3日（金）に宮崎県で行われ、災害協定を結んでいる九州地方整備局からの依頼で（一社）



日本建設機械レンタル協会九州支部として参加いたしました。

場所が宮崎県だったため、当初から宮崎県部会の役員に九州地方整備局との打合せをはじめ、さまざまな事をお願いし無事当日を迎えることができました。

当日は国土交通省を中心とした各省庁、



自衛隊、警察、消防、県、市等のほか災害協定団体など145機関が参加し、見学者含め総勢3000名の規模で行われました。

これは九州としては最大規模の防災訓練となり宮崎港をメイン会場に複数のサテライト会場をつないだ大がかりなもので、メイン会場では各団体が制服に身を包み、災害時のさまざまな場面を想定した訓練が行われ、展示コーナーでは資料の配布



以外に実際の車両、機器の展示や地震体験、大雨体験なども行なわれていました。

我々は当日の協賛団体として私以下、九州副支部長、宮崎県の役員が開会式に参加いたしました。また車輛展示コーナーには宮崎県部会の協力で油圧ショベルと橋梁点検車を展示しました。前日に宮崎市で九州支部の役員会を行い、当日は開会式から役員ほとんどが参加して訓練を見学したり各種展示を見て災害に対する備えの思いを新たにしました。



九州支部の今年度の事業の一つとして、本部でも委員会が出来ておりますi-Constructionへの取り組みがありましたが、「i-Construction勉強会」として10月20日（金）に九州支部で各県部会代表の参加者を募り、コマツIoTセンターへ見学に行ってきました。

当日は九州地方整備局でi-Constructionを担当されている専門官に来て頂き、なぜi-Constructionを推進していこうとしているか、なぜ必要なのかということなどを、スライドを利用して1時間お話しいただき、その後(株)コマツレンタルの女性プレゼンターに実際の機器の説明やデモンストレーションを見せていただきました。

希望者はブルドーザー、パワーシャベルに乗って実機の操作や動きなどを実体験することができました。

今回は九州支部として見学させていただきましたが、この後各県に戻りi-Constructionについてより理解を深める活動としてコマツIoTセンターの見学などを行っていってもらおうとしています。九州ではトプコンが全国で3番目のトレーニングセンターを今年の7月に北九州にオープンさせておりi-Construction

についてのいろいろな環境が整ってきています。九州支部の役員会でも、投資金額を考えながらどのように進めていくべきなのか等の議論もあり、九州支部全体としてi-Constructionに取り組んでいくことが必要だと感じています。





# 振動応用技術で世界をひらく

## VIBRATION SPECIALIST

### バッテリートラック

排気ガスを出さないバッテリー駆動で最大斜度40°の傾斜や階段を昇ります。  
積載重量は平地で最大1,000kg、斜面や階段で最大500kgまで運搬可能です。  
また、超信地旋回方式を採用し、階段の踊り場など狭い範囲でも旋回できるので地下鉄工事やビル改修工事での建設資材運搬に最適です。

#### ■バッテリートラック仕様

	TT-47	TT-66	TT-66HS JMAE → 行方
トラック部寸法 (長×幅×高mm)	1,207×762×364	1,651×762×349	
重量	352kg	443kg	477kg
バッテリー	24V (12V×2個)		
ブレーキ機能	無	有	有
積載重量	1,000kg		
平地			
傾斜面/階段	272kg	500kg	
最大登坂斜度	40°(傾斜面/階段)		
移動速度	最高速 13.4 m/min 低速 6.7 m/min		
コントローラー	有線/無線		
電池残量表示	有		
アワーメーター	有		
作動表示ランプ	オプション(サービスポート付)		
作動中ブザー	有		
角度センサー	無	有	有

※最大登坂斜度以内の階段でも使用できない場合があります。



### インダイレクトヒーター

燃料燃焼時に発生する人体に有害なガスは煙突から排出され、間接的に暖められたクリーンな温風を排気とは別のダクトより供給する業務用エアヒーターです。



HI110D(単相100V)  
熱出力 27.1kW



HI200(単相100V)  
熱出力 50.7kW



HI90(単相200V)  
熱出力 79.1kW



**EXEN** 振動応用技術で、世界をひらく  
**エクセン株式会社**  
http://www.exen.co.jp/  
本社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-17-13  
TEL 03-3434-8455 FAX 03-3434-1658

●札幌営業所 011-772-0861 ●大阪支店 06-6831-3008  
●仙台営業所 022-259-0531 ●広島営業所 082-278-6868  
●東京建機支店 03-3434-8451 ●九州支店 092-586-1200  
●名古屋営業所 052-703-9977

# Denyo

www.denyo.co.jp

## いつでもどこでも頼れるあなたのパートナー

発電機・溶接機・コンプレッサのリース・レンタルは、抜群の性能を誇るデンヨー製品で!

静音発電機 マーリエ

三相・単相3線同時出力発電機

新登場

静音発電機

# Malie

# SIDUL GENERATOR

まるで図書館並みの静かさ!  
別次元の低騒音を実現。



驚異の低騒音  
**43dB(A)\***

\*音圧レベル・50Hz 無負荷時  
7m四方向平均値

3電源仕様



**DCA-25MZ**

発電出力[50/60Hz]:  
単相3線式100/110・200/220V 11.5/14.4kVA  
三相4線式200/220V・400/440V 20/25kVA



**DCA-45LSKE-D**

発電出力[50/60Hz]:  
単相3線式100/110・200/220V 25/30kVA  
三相4線式200/220V 37/45kVA

余裕の単相出力  
**25/30kVA**

エンジンコンプレッサ

エコベース

エンジンコンプレッサ 可変圧力・可変容量タイプ

エコベース搭載の環境対応ボディながら  
軽トラックに横積みできるコンパクト設計!

現場作業に応じて思いのまま!  
可変圧力・可変容量システム

軽トラック  
積載OK!

NEW



余裕のエコベース容量  
燃料26L  
潤滑油8.0L  
冷却水4.0L  
冷水3.9L  
総液体量 41.9L  
エコベース  
空間容量  
**51L**



●吐出空気量が2.2m³/minにパワーアップ!  
●乾燥質量 314kg

**DIS-80LBE**

吐出圧力: 0.70MPa  
吐出空気量: 2.2m³/min

NEW



0.01MPa単位で吐出圧力を  
設定できます!



第3次排ガス  
対応

**DIS-400VPB**

吐出圧力: 0.70~1.27MPa  
吐出空気量: 42.0~46.5m³/min

●技術で明日を築く  
**デンヨー株式会社**

東京支店 〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5  
TEL:03(6861)1122 FAX:03(6861)1182



**SAKAI** SAKAI 100<sup>th</sup>  
MASTERS OF COMPACTION 1918-2018

つくる、道がある。  
つなぐ、世界がある。

# 1<sup>th</sup> Anniversary

100年の信頼。それは、あくなき挑戦の証。  
我々酒井重工業は、長年の経験から生まれた  
有形無形のノウハウと新技術への飽くなき挑戦により、  
時代の要請にお応えし、国土建設に貢献できる企業を目指します。

酒井重工業株式会社

弊社は、本年5月をもちまして創業100周年を迎えます。これまで多大なるご愛顧とご支援に深く感謝するとともに、今後とも皆様の温かいご支援を賜りたくお願い申し上げます。

**SAKAI**  
MASTERS OF COMPACTION

SAKAI 100<sup>th</sup>  
1918-2018



タイヤローラ  
TZ704

振動コンバインドローラ  
TW504

マカダムローラ  
R2-4

舗装用締固め機械

土工用締固め機械



SV900DV-1



SV514D

小型締固め機械



ハンドガイドローラ  
HV520-620



プレートコンパクタ  
PC63



ランマ  
RS45E

**酒井重工業株式会社**

〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-8

お問い合わせ、資料請求は [dmsales@sakainet.co.jp](mailto:dmsales@sakainet.co.jp) まで

TEL. 03-3434-3401 (代)  
[www.sakainet.co.jp](http://www.sakainet.co.jp)



新登場

# Cat<sup>®</sup> 320 油圧ショベル Next Generation

いま、  
あなたの手で  
現場に革命を。



写真は海外仕様機です。国内販売モデルと一部仕様が異なります。

## 先進テクノロジーを「標準」装備 革新的デザインが生んだ新世代マシン



- ▶ 新技術により燃費25%低減を実現  
(前モデルシリーズ比)
- ▶ 快適な操作空間と安全性を確保した新型キャブ
- ▶ 安全と効率を追求したメンテナンス

### ▶ 標準装備の ICT で全ての現場にテクノロジーを

- ◆ アップグレードで i-Construction 対応可能  
2D マシンコントロール / マシンガイダンス  
2D ガイダンス機能でオペレータにナビゲートし、  
マシンコントロールで半自動コントロール。  
3D アップグレードキット装着により容易に i-Construction に対応。
- ◆ Cat ベイロード  
リアルタイムでモニタ画面にバケット内の重量とトラック積載量が表示され、  
重量を確認しながらの作業が可能に。
- ◆ E-フェンス  
「高さ」「深さ」「前方」「キャブ干渉防止」「  
「旋回」の作業範囲を制限し、制限範囲に  
近づくと自動静止。

新型 Cat 320  
についての  
詳細は



[www.nipponcat.co.jp/lp/320/](http://www.nipponcat.co.jp/lp/320/)

日本キャタピラー 検索



価値ある信頼、  
想いはひとつ

日本キャタピラー合同会社

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー  
TEL : 03-5334-5666

CATERPILLAR, CAT, Cat及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。

日本キャタピラー CAT

# ともに挑む。 ともに進む。

アジアの産業とくらしを豊かにする  
流通プラットフォームの構築を目指して。

販売先様の会「やまずみ会」、  
仕入先様の会「炭協会」をはじめとする  
ステークホルダーのみなさまとともに、  
わたしたちの挑戦は続きます。

350年の歴史を超えて、明日へ、未来へ。

**Growing Together**



## YUASA

ユアサ商事株式会社

<http://www.yuasa.co.jp/>



建設機械のことなら建機レンタルNavi

# 建機レンタルNavi

建機レンタルNaviは、全国の建設機械利用者様に対してレンタルの情報をインターネットを通じてお届けすることで、建機レンタル事業者様のビジネス拡大をお手伝いいたします。

### POINT 1 多くの会社が集まることでビジネスチャンスが広がる!

●さまざまなレンタルの情報を一箇所にまとめて提供。  
地域の建機レンタルの情報を簡単に検索して頂けます。

### POINT 2 無料で簡単にホームページが持てる!

●地域を越えて情報発信できます。  
●ホームページを持つことで、自社の認知度・信用力アップ!  
●既にお持ちのホームページとの連携で、更なる集客も!

### POINT 3 便利な営業支援機能!

●登録事業者様向けの営業を支援するオプション機能を順次で提供!  
事業者様のビジネス拡大・営業効率化を支援します。



スマートフォンでも利用可能

建機レンタルNaviサイト <http://www.kenki-navi.com/>

## 掲載企業募集中!! 掲載無料

お問合せは ☎ 0120-977-671 ✉ [kenki-navi@nsd.co.jp](mailto:kenki-navi@nsd.co.jp)

NSDの建機レンタルシステムソリューション

## 「使える・選べる」システムで、会社が変わる



NSDの建機レンタルシステムは、  
各種レンタル業の幅広いお客様にご利用頂いております!

クラウド型サービス



クラウド版レンタル業向け業務管理システム

簡単導入・低価格!  
インターネット経由でシステムを利用することで、  
サーバや特別なソフトを必要とせず、  
豊富な機能をすぐにお使い頂けます!

お客様所有型サービス



建設機械・仮設資材レンタルシステム

お客様の業務に合わせて、きめ細かく対応!  
お客様の社内に専用のシステムを構築することで、  
現場の多彩な要望にもお答えできます!

NSD  
【本社】〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101 ワテラストワー  
【大阪支社】〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ  
【名古屋支社】〒451-6005 愛知県名古屋市中区牛島6-1 名古屋ルーセントタワー  
【福岡支社】〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル

●お問合せ専用/フリーダイヤル0120-977-671 ※携帯電話からでもご利用頂けます  
詳しくは「NSD レンタル」で検索!    
URL <http://www.nsd.co.jp/> E-mail [rental@nsd.co.jp](mailto:rental@nsd.co.jp)



照明、防爆、ポンプ、金属加工、エアーツール、レンチ、切断機、揚重・搬送、ジャッキ、掃除機、  
集塵、コンプレッサー、発電機、溶接機、治具、季節用品、レンタカー、各種関連機器等...

# 約1,600種類、40,000点の商品群で

# レンタル会社様・溶材商社様を

## 強力にバックアップ!



ヘラクス



ポジショナー



ターニングロール



バッテリー式バルーンナイター

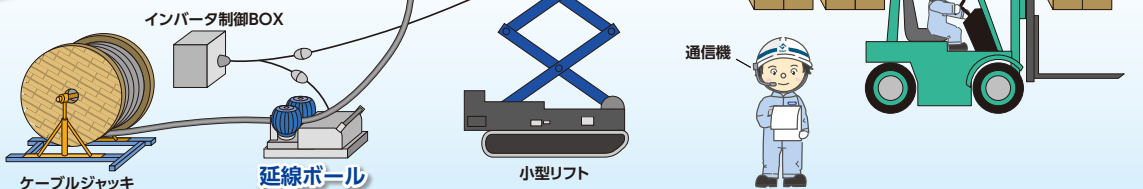


エンジンCO<sub>2</sub>溶接機



搭乗式スイーパー

### 卸レンタル会社初! 延線ボールレンタル 開始しました!!



溶接機、関連機器を中心とする「卸レンタル」に特化した新会社です

# SGP 生産技術 パートナーズ

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル

TEL: 03-6206-6441 FAX: 03-6206-1176

八戸営業所  
青森県八戸市沼館 1-10-40  
TEL 0178-38-7674 FAX 0178-38-7515

富山営業所  
富山県富山市中田 45-62  
TEL 076-437-2100 FAX 076-437-5123

小牧営業所  
愛知県小牧市中央 4-75  
TEL 0568-54-2266 FAX 0568-54-2277

水島営業所  
岡山県倉敷市松江 1-14-12  
TEL 086-456-1115 FAX 086-456-1181

いわき営業所  
福島県いわき市泉町滝尻字橋本 50-17  
TEL 0246-75-1011 FAX 0246-75-1012

横浜営業所  
神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-4-5  
TEL 045-787-3911 FAX 045-787-3913

大阪営業所  
大阪府大阪市住之江区北加賀屋 3-1-30  
TEL 06-4702-7500 FAX 06-4702-7501

鳥栖営業所  
佐賀県鳥栖市原町 1246-1  
TEL 0942-87-3300 FAX 0942-87-3350

コンバインド型  
**KV25CS  
KV40CSE  
KV40CSI**



タンデム型  
**KV25DS  
KV40DSE  
KV40DSI**



【超低騒音型建設機械】  
【NETIS登録 TH-120018-VE】

【第3次基準値排出ガス対策型】  
KV40CSE, DSE/KV25CS, DS

【特定特殊自動車排出ガス 2014年 基準適合車】 KV40CSI, DSI

**H600KS H650KS** **ハンドガイドローラー**

フルオープンカバー&サイドガードフレーム

【陸内協排出ガス自主規制】  
【2次規制適合エンジン搭載】



【超低騒音型建設機械】  
【NETIS登録 TH-120016-VE】

超低騒音型  
新発売!!

3tタイヤローラ  
**KT30S**



【超低騒音型建設機械】  
【NETIS登録 TH-120018-VE】

【第3次基準値排出ガス対策型】

土工用振動ローラ  
**H11ix  
H20i**



【低騒音型建設機械】

【特定特殊自動車少数特例基準適合車】

クローラ洗浄機  
**CW25**

人手の掛からない自動洗浄ロボットにより重機足回りの洗浄費用が大幅低減!!



**KANTO**  
関東鉄工株式会社

<http://www.kanto-tk.co.jp>

本社・工場 / 〒306-0101 茨城県古河市尾崎41-14  
TEL: 0280-77-0081 FAX: 0280-77-0080

皆さまの i-Construction (アイ・コンストラクション) をお手伝い


**SMARTCONSTRUCTION** **KOMATSU**

**i-Construction のことならコマツにご相談ください!**

〈アイ・コンストラクション〉  
**国土交通省「i-Construction」施工プロセス**

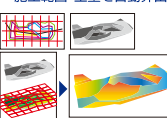
ドローン等による  
3次元測量

ドローン等による写真測量で  
3次元測量を実施




3次元測量データによる  
設計・施工計画

測量データと設計図面から  
施工範囲・土量を自動算出



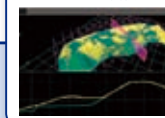
ICT建機による  
施工

先進のICT建設機械で  
建設現場のIoTを実施。



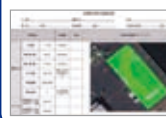
出来形管理等の  
施工管理

3次元の施工データ  
すべて蓄積



3次元データ  
の納品

出来形可否判定総括表




**SC** 全工程の情報を一元管理できる スマートコンストラクションアプリ

『SMARTCONSTRUCTION』は「i-Construction」に完全準拠しています。

**コマツ スマートコンストラクション**

【SMARTCONSTRUCTION】の詳細はホームページをご覧ください。 <http://smartconstruction.komatsu/>



日本建設機械レンタル協会 正会員専用 保険制度 **～総合補償制度のご案内～**

制度ラインアップとお支払いの対象となる事例

メニュー1 総合賠償制度



ユーザーが舗装工事中バックホーの操作を誤り、水道管を破損させた。

メニュー1 動産総合保険制度



建機をユーザーに貸出し中、台風によりバックホーが破損した。

メニュー2 ダブルリース保険制度



他社から借り入れた建機を自社に保管中何者かに盗まれた。

メニュー2 労災上乗せ補償制度



リース建機の積み下ろし作業中、機械が横転し下敷きになってしまった。

**この制度の特長**

- 日本建設機械レンタル協会の正会員のみが加入できる制度です。
- 保険料は、全額損金処理できます。  
\*今後法改正により変更となる場合があります。  
実際の税務処理については税理士にご相談ください。
- 団体スケールメリットを活かした割安な保険料で大型補償をご提供します。
- 協会の指定代理店による徹底したフォローが受けられます。

※この広告は概要のご案内となります。  
詳しい内容については、取扱代理店または  
損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

〈ご参考〉メニュー1の保険金お支払実績 (注)  
(注) 2016年10月1日から2017年9月30日までの1年間です。

保険金お支払件数	150件
支払保険金総額	約 12,107万円

まずは有限会社ゼンケンまでご連絡ください! → 協会の指定代理店をご紹介します!

〈取扱幹事代理店〉  
有限会社ゼンケン (協会事務局内)  
〒101-0038 東京都千代田区  
神田美倉町 12-1MH-KIYA BLDG.  
<キヤビル>5階  
(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)  
TEL 03-3255-0514  
FAX 03-3255-0513

〈引受保険会社〉  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
営業開発部第一課  
〒160-8338  
東京都新宿区西新宿 1-26-1  
(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)  
TEL 03-3349-3322  
FAX 03-6388-0155

SJNK17-13403 / 2017.10.25

**THIの建設機械 無料査定サービス**






重機や道路工事機械はもちろん、アタッチメントやトラックまで!  
売却や買換えなら、THIの無料買取査定サービスをご利用ください。

お急ぎならお電話で!

受付時間 平日 9:00 - 17:00

**0120-50-1134**

Webでも!

**www.AssetLine.com**

LINEでも!

24時間受付

LINE QRコード  
またはLINEアプリで  
「T.H.I. sales」を検索



株式会社ティ・エイチ・アイ  
〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町 4-31 Tel 045-508-2000 / Fax 045-508-2020





since 1968 **WACOH**

バルーン照明器・投光機・小型建設機械の製造販売

安心安全  
国内工場

資料請求  
受付中!!

レンタル会社様・建設関係の商社様のご要望にいち早くお応えします!



バルーン照明機  
イメージキャラクター  
「ば〜るん」



カート式



パワフルライト



オイルタンク  
クリーナー簡便型 OS2L



運搬作業が楽々!  
操作が簡単!

エンジン輪車E1-5  
標準仕様 3切りバケット



【新方式 強制攪拌ふるい機】  
底めけふるい機 網固定式  
クイックふるい  
WQF70 WQF45

製造元 **和光機械工業株式会社**

●商品のお問い合わせ&資料請求は下記へお気軽に電話下さい。

**TEL.048-295-3228**

本社・営業部  
サービス技術センター  
〒333-0821 埼玉県川口市東内野272番地  
TEL.048(295)3228(代) FAX.048(295)3225

山形工場  
部品センター  
〒997-0341 山形県鶴岡市下山添庄内南工業団地  
TEL.0235(57)2766(代) FAX.0235(57)2765

和光機械工業株式会社 検索

建設機械・物流機器・測量機器・各種ポンプ〔Wレンタル専門〕



代表取締役 姫野 康通

～ 年頭のご挨拶 ～

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

弊社は他社ではあまり扱わない小型機械を中心とした  
独自の商品構成で、多様化するお客さまのニーズに  
タイムリーにお応えて参りました。

さらに、いつも最高の状態で機械を使っていただけ  
万全のメンテナンス体制を確立。  
お陰様で多くのお客さまにご支援をいただくに至り、  
着々と成長を続けております。

今後とも全国を視野に入れた多店舗展開を目指す一方、  
創業以来の伝統である「堅実でバランスのとれた経営」  
を守り、全社一丸となってお客さま第一主義をより一層  
充実させていく所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

日商マン 基本3ヶ条

1. 私たちは、  
全国に“信頼”をつくります
2. 私たちは、  
共に働き、共に栄えます
3. 私たちは、  
“誠実”と“貢献”を  
モットーとします



株式会社日商機械

- \* 仙台リースセンター : 022-786-3811
- \* 船橋リースセンター : 047-495-6388
- \* 名古屋リースセンター : 052-389-2324
- \* 福岡リースセンター : 092-629-8311
- \* 川崎リースセンター : 044-201-3621
- \* 戸田リースセンター : 048-434-0300
- \* 大阪リースセンター : 06-6658-0311



# 建設機械盗難調査報告書 年度別推移

調査期間	H13	H14	H15	H16	H17
受理番号	1-336	337-545	546-781	782-999	1,000-1,238
届け出件数	336	209	236	218	239
盗難建機台数計	628	366	255	226	276
被害額記入あり件数	266	180	192	174	142
被害総額計 (単位:万円)	108,219	143,625	95,112	98,060	53,976
盗難建機数計	543	208	203	177	161
被害額記入なし件数	70	29	44	44	97
調査期間内の発見件数	3	4	5	7	5

調査期間	H18	H19	H20	H21	H22
受理番号	1,239-1,410	1,411-1,523	1,524-1,633	1,634-1,788	1,789-1,914
届け出件数	172	113	110	155	126
盗難建機台数計	252	129	134	295	130
被害額記入あり件数	69	52	61	54	82
被害総額計 (単位:万円)	18,387	17,803	12,930	16,318	20,025
盗難建機数計	78	64	65	54	82
被害額記入なし件数	103	61	49	101	44
調査期間内の発見件数	2	1	0	4	0

調査期間	H23	H24	H25	H26	H27
受理番号	1,915-2,072	2,073-2,259	2,260-2,604	2,605-2,768	2,769-3,133
届け出件数	158	187	345	164	365
盗難建機台数計	240	298	774	269	319
被害額記入あり件数	73	53	47	14	16
被害総額計 (単位:万円)	10,964	6,258	9,503	1,924	2,362
盗難建機数計	109	107	48	14	13
被害額記入なし件数	84	134	298	150	345
調査期間内の発見件数	2	5	5	2	2

調査期間	H28	H29
受理番号	3,134-3,487	3,488-3,630
届け出件数	354	142
盗難建機台数計	218	81
被害額記入あり件数	18	3
被害総額計 (単位:万円)	27,333,400	786,000
盗難建機数計	15	1
被害額記入なし件数	334	139
調査期間内の発見件数	6	1

注) H13年度はH13年7月から調査開始  
H28年度はH28年9月までの数値

## 1. 盗難発生場所別件数

発生場所	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
自社敷地内	58	26	31	26	51	27	19	17	38
ユーザー敷地内	54	33	43	53	39	32	26	18	39
作業現場	220	144	148	130	136	112	64	60	76
その他	4	6	14	9	13	1	4	15	2
計	336	209	236	218	239	172	113	110	155

発生場所	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
自社敷地内	11	8	11	30	16	5	5	2
ユーザー敷地内	7	15	49	135	72	145	107	5
作業現場	89	107	110	172	72	213	240	135
その他	19	28	17	8	4	2	2	0
計	126	158	187	345	164	365	354	142

注) 上記は発見件数分も含む数値

## 2. 機種別盗難建機台数

区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
積込機械	4	1	0	0	0	0	2	0	0
掘削機械	101	94	85	92	91	54	40	28	48
クレーン	12	8	10	10	4	3	1	4	2
締固め機械	5	1	6	5	5	7	4	1	44
運搬機械	21	21	44	33	22	8	9	5	4
発電機	144	68	53	50	86	56	29	45	35
溶接機	13	6	13	8	15	17	7	4	2
投光機	11	5	1	2	1	0	0	0	0
空気圧縮機	9	2	14	3	0	1	3	25	5
その他	308	160	42	23	52	106	34	45	142
計	628	366	255	226	276	252	129	134	282

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
積込機械	0	1	2	3	2	2	4	0
掘削機械	26	16	12	24	13	9	15	3
クレーン	1	2	20	40	6	18	7	5
締固め機械	8	17	31	26	24	19	6	5
運搬機械	5	14	15	48	14	15	8	1
発電機	39	49	59	82	32	107	110	31
溶接機	8	9	13	15	16	20	9	10
投光機	1	1	8	17	5	10	10	4
空気圧縮機	2	2	0	4	3	2	3	0
その他	36	52	107	86	49	163	176	30
計	126	163	267	345	164	365	348	89

3. 支部別届け出件数

支部名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計
北海道	7	8	21	20	5	0	0	7	8	12	11	2	5	2	5	3	0	116
青森	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
秋田	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	1	3	1	0	2	2	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	3	2	2	1	1	3	2	1	1	0	0	7	1	0	0	0	0	24
東京	91	83	59	50	18	7	14	11	37	8	9	22	23	5	3	13	4	457
神奈川	6	3	8	0	10	4	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	35
長野	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
群馬	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
栃木	8	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3	3	0	0	1	0	21
静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	48	148	81	120	176	68	685
中部	110	48	73	66	102	46	21	19	40	23	31	0	7	2	5	1	0	594
富山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	2
石川	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0
大阪	11	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	17
兵庫	48	23	33	19	61	68	37	30	51	23	9	10	3	4	3	15	1	438
和歌山	18	7	1	5	3	20	0	8	1	0	2	1	0	0	0	0	0	66
滋賀	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	6
京都	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中国	2	2	0	4	0	0	1	1	1	2	9	2	2	0	5	0	2	33
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	5
九州	14	26	36	46	35	22	29	27	13	48	39	44	35	10	13	13	1	451
沖縄	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	8
大手広域業者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	118	60	210	129	66	619
計	336	209	236	218	239	172	113	110	155	126	158	179	345	164	365	352	142	3,619

注) 石川支部・富山支部・福井支部は、平成24年度より統合され、北陸支部となった。  
 注) 平成24年度より、大手広域業者へ直接盗難報告するよう依頼した。  
 注) 大阪支部・兵庫支部・和歌山支部・滋賀支部・京都支部は、平成29年度より統合され、関西支部となった。

建設機械等の盗難・紛失報告書

情報提供日：平成 年 月 日

機 械 名：	製造会社：		
型 式：	製造番号：	エンジン番号：	
塗 装 色：	その他番号（リース会社管理番号）：		
購入年度：	標準価格：		

被害区分(○で囲む)	盗 難・紛 失・その他 ( )
被害発生日時	平成 年 月 日～ 月 日 時頃
被害発生場所	社名：
	住所：
	○で囲む 自社・ユーザー・その他
○で囲む	構内・置き場・作業現場・その他
届出警察署・日時	月 日 届出
被害者名 ※所有者	社名： 住所：
被害者名 ※使用者	社名： 住所：
連 絡 先	社名：
	支店・営業所：
	担当者氏名：
	TEL： FAX：

※ 形状・特徴・スケッチ・写真、及び説明文等を添付してください。

事故発生時の連絡・報告先（発生日中に）

※被害者→ 警察署（訪問届出）  
 → 購入先ディーラー  
 → 所属支部事務局 → (一社) 日本建設機械レンタル協会事務局  
 TEL 03-3255-0511  
 FAX 03-3255-0513



## 日本建機レンタル総合賠償制度 支部別加入状況

(2018年1月31日現在)

(単位：円)

支部名	会員数 (本社)	基本プラン		オペミス+ユ特約+交差		合 計	加入率
		加入数	掛け金	加入数	掛け金		
北海道	59	26	6,234,000	25	16,692,500	22,926,500	44.1%
青 森	12	5	2,104,500	5	6,665,000	8,769,500	41.7%
秋 田	10	8	957,670	8	1,134,000	2,091,670	80.0%
岩 手	9	1	119,000	1	1,079,500	1,198,500	11.1%
宮 城	19	10	1,291,000	9	2,425,500	3,716,500	52.6%
山 形	7	5	2,065,330	5	4,172,170	6,237,500	71.4%
福 島	33	3	713,000	3	1,774,500	2,487,500	9.1%
新 潟	13	4	595,000	3	467,500	1,062,500	30.8%
群 馬	5	0	0	0	0	0	0.0%
栃 木	15	1	170,000	1	860,000	1,030,000	6.7%
東 京	161	35	5,191,670	27	13,363,500	18,555,170	21.7%
神奈川	42	16	2,230,000	15	5,825,000	8,055,000	38.1%
長 野	15	2	153,000	2	153,000	306,000	13.3%
静 岡	11	4	427,500	4	335,000	762,500	36.4%
中 部	47	25	3,884,360	17	8,090,140	11,974,500	53.2%
北 陸	44	21	2,489,000	9	3,417,000	5,906,000	47.7%
滋 賀	18	8	1,028,500	7	1,496,000	2,524,500	44.4%
京 都	8	4	425,000	3	748,000	1,173,000	50.0%
大 阪	61	7	1,807,000	3	10,328,000	12,135,000	11.5%
和歌山	15	2	518,500	2	3,740,000	4,258,500	13.3%
兵 庫	20	6	1,114,000	4	1,071,500	2,185,500	30.0%
中 国	53	12	3,073,000	11	6,859,500	9,932,500	22.6%
四 国	8	2	246,500	2	654,500	901,000	25.0%
九 州	76	25	3,257,000	21	6,817,000	10,074,000	32.9%
沖 縄	21	14	1,969,500	13	9,151,500	11,121,000	66.7%
合 計	782	246	42,064,030	200	107,320,310	149,384,340	31.5%

当協会  
専用制度

## 日本建機レンタル総合賠償制度の特長

- 日本建設機械レンタル協会員のみが加入できる制度です。
- 保険料は、全額損金処理できます。  
※今後法改正により変更となる場合があります。実際の税務処理については税理士にご相談ください。
- 団体スケールメリットを活かした大型補償。しかも保険料は割安です。
- 日本建設機械レンタル協会指定代理店による徹底したフォローが受けられます。

昨年1年間（注）で、147件で約9,188万円の  
保険金をお支払しています！

（注）2016年11月～2017年の10月までの1年間

## お問い合わせ・お見積は・・・

〈お問い合わせは本制度取扱幹事代理店まで〉

**有限会社ゼンケン（日本建設機械レンタル協会事務局内）**

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町12-1

MH-KIYA BLDG. 〈キャビル〉 5階

TEL 03-3255-0514 / FAX 03-3255-0513

その他の専用制度もご用意しています！  
まずはお見積だけでもお気軽にお問い合わせください！

## 協会役員名簿 (平成29年度)

役職	氏名	所属名	支部等
会長 (代表理事)	角口 賀敏	(株) キナン	関西
副会長	藤本 俊雄	(株) ビー・トライ	東京
副会長	北野 一雄	北野建機(株)	関西
副会長	小沼 直人	(株) アクティオ	広域
副会長	気田 福俊	青森リース(株)	青森
副会長	小野寺昭則	コマツレンタル(株)	広域
常任理事	倉内 広昭	エスケーリース(株)	北海道
常任理事	菅野 浩昭	東北リース(株)	宮城
常任理事	福山 慎一	双葉リース(株)	東京
常任理事	原 茂	(株) 原鉄	長野
常任理事	瀧 哲也	瀧富工業(株)	中部
常任理事	高野 泰行	(株) 高野工会	北陸
常任理事	富田 幹唱	山喜産業(株)	関西
常任理事	宇都宮昭憲	長浜産業(株)	中国
常任理事	仲田 優晴	喜多機械産業(株)	四国
常任理事	中野 登	(株) ナカノ	九州
常任理事	佐久本嘉幸	(株) 佐久本工機	沖縄
常任理事	橋口 和典	(株) カナモト	広域
常任理事	辻村 敏夫	西尾レントオール(株)	広域
常任理事	山本 茂紀	日立建機日本(株)	広域
常任理事	寅 太郎 (砂岡 豊彦)	(株) レンタルのニッケン	広域
専務理事 (業務執行理事)	西村 稔	(一社) 日本建設機械レンタル協会	本部
理事	富山 政紀	日本建機サービス販売(株)	北海道
理事	三浦 正義	(株) 秋田中央機工	秋田
理事	久保田栄二	北辰通商(株)	福島
理事	吉田健一郎	(株) 新潟まるよし	新潟
理事	北條 光一	(株) 北條モータース	栃木
理事	中川 秀敏	レントリー新潟(株)	群馬
理事	金子眞紀子	金子機械(株)	神奈川
理事	田島 潤一	(株) レント	静岡
理事	松岡 賢	マツオカ建機(株)	中部
理事	川嶋 栄司	(株) 川嶋機械	関西
理事	内田 伸二	(株) 南大阪建機	関西
理事	橋本 幹夫	聖和テック(株)	中国

役職	氏名	所属名	支部等
理事	峰平 国生	(株) 森谷リース	九州
理事	佐藤 清彦	日本キャタピラー	広域
理事	絹川 秀樹	コベルコ建機(株)	メーカー
理事	酒井 一郎	酒井重工業(株)	メーカー
理事	寺本 健	住友建機販売(株)	メーカー
理事	村手 徳夫	日本車輛製造(株)	メーカー
理事	高橋 謙三	北越工業(株)	メーカー
理事	程 暁明	日立建機(株)	メーカー
理事	京谷 弘也	三笠産業(株)	メーカー
理事	渡辺 和弘	(一社) 日本建設機械施工協会	関係団体
理事	木引 満明	(一社) 日本建設機械工業会	関係団体
監事	玉田 明壽	(株) ワキタ	メーカー
監事	加藤 浩孝	(株) トーメイ	東京
監事	加藤 義久	(税) 日本みらい会計	公認会計士
相談役	荒井 敏彦	(株) 共英	東京
参与	高橋 悦見	(株) セントラル	岩手
参与	小野寺啓一	(株) 高千穂	山形
参与	小松崎伸一郎	小松崎機械(株)	東京
参与	吉川 義一	(株) ヨシカワ	北陸
参与	白澤 照久	シラサワ建機(株)	北陸
参与	村上京太郎	(株) 京都鉄工	関西
参与	吉田 勇二	トーヨースギウエ(株)	四国
参与	谷 義博	讃岐リース(株)	四国
参与	門田 徹也	(株) 東部レントオール	四国
参与	太田 新治	(株) 九州建産	九州
参与	萩原 佳己	(株) 名九建設機械	九州
参与	加治 亮一	(株) カネイチ	九州
参与	後藤 健治	(株) コマツレンタル宮崎	九州
参与	岩井 健一	サコス(株)	広域
参与	柿木 敏雄	新日本建販(株)	広域
参与	須郷 洋一	ユナイト(株)	広域
参与	佐々木真治	(株) クボタ	メーカー
参与	江藤 陽二	デンヨー(株)	メーカー
参与	辻本 治	(株) 鶴見製作所	メーカー
参与	川原 光英	ヤンマー建機(株)	メーカー
参与	杉本 義雄	ユアサ商事(株)	メーカー
参与	鬼木 幹生	損害保険ジャパン日本興亜(株)	保険
特別顧問	二階 俊博	衆議院議員(自由民主党)	



# 協会支部名簿

平成30年1月22日現在

支部名称	支部長名 (代表者名)	事務局長	〒	所在地	TEL	FAX
					E-mail	
北海道支部	倉内 広昭	高橋 和夫	060-0034	北海道札幌市中央区北四条東2-8-3 第2まるよビル4F	011-221-1485 hkk1rst1@bz01.plala.or.jp	011-222-5612
青森支部	気田 福俊	鳥谷部 稔	034-0051	青森県十和田市伝法寺字大窪62-1 青森リース(株)内	0176-28-3111 m-toriyabe@aomori-lease.com	0176-28-2837
秋田支部	三浦 正義	田仲 和昭	010-1103	秋田県秋田市太平中関字平形111	018-853-1401 hrcnm549@ybb.ne.jp	018-853-1402
岩手支部	高橋 悦見	千葉 岸夫	023-0401	岩手県奥州市胆沢区南都田字化粧坂179 (株)セントラル内	0197-46-5977 s.takahashi@central3939.co.jp	0197-46-5977
宮城支部	菅野 浩昭	小原 透	984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-5-1 仙台団地倉庫協同組合会館2F	022-238-1751 miya.k.l@io.ocn.ne.jp	022-238-1752
山形支部	小野寺啓一	新関 秀一	994-0054	山形県天童市大字荒谷196-10	023-665-5509 ykrk@star.ocn.ne.jp	023-665-5518
福島支部	久保田栄二	柳沼 孝二	963-0111	福島県郡山市安積町荒井字梅田前35-1 北辰通商(株)内	024-954-6531 rentalfukushima@aroma.ocn.ne.jp	024-954-6532
新潟支部	吉田健一郎	佐藤亜希子	950-0972	新潟県新潟市中央区新和1丁目4番8号 チャンパーK II 203号	025-378-0671 znknight@gmail.com	025-378-0672
群馬支部	中川 秀敏	鴨志田幸平	379-2145	群馬県前橋市横手町38-1 (レントリー新潟(株) 高崎営業所内)	027-212-8733 gcra@g-cra.com	027-212-8774
栃木支部	北條 光一	伊藤 義昭	320-0041	栃木県宇都宮市松原3-6-27 コーポ松原102	028-612-8039 iyougon@gmail.com	028-612-8037
東京支部	藤本 俊雄	前田 秀雄	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYA ビル5F	03-3255-0515 aef05673@nifty.com	03-3255-0516
神奈川支部	金子真紀子	脇水 良江	221-0052	神奈川県横浜市神奈川区栄町2-10 アール・ケープラザ横浜III1103	045-440-1116 kleaseky@maple.ocn.ne.jp	045-440-1117
長野支部	原 茂	下村 剛司	399-3301	長野県下伊那郡松川町上片桐3322	0265-49-8252 naganojcra@asahinet.jp	0265-49-8242

平成30年1月22日現在

支部名称	支部長名 (代表者名)	事務局長	〒	所在地	TEL	FAX
					E-mail	
静岡支部	田島 潤一	菊田 功一	422-8004	静岡県静岡市駿河区国吉田1-6-10 (株)レント本社内	054-297-5800 shizuren@triton.ocn.ne.jp	054-297-5801
中部支部	瀧 哲也	水谷 勝治	460-0008	愛知県名古屋市中区栄1-14-14 御園パレス302	052-203-1657 zenkenko@bronze.ocn.ne.jp	052-203-1658
北陸支部	白澤 照久	大山 勇	920-0211	石川県金沢市湊2-116-16	076-238-7097 bz344724@bz01.plala.or.jp	076-238-7597
関西支部 滋賀協議会	川嶋 栄司	岩下絹穂子	524-0013	滋賀県守山市下之郷3-14-25 第一観光ビル2F	077-581-0481 shiga-cmla@drive.ocn.ne.jp	077-558-8007
関西支部 京都協議会	吉田 栄次	小藪 聡	604-8831	京都府京都市中京区四条通中道西入 高石機械産業(株)内	075-823-0188 info@takaishi-mi.co.jp	075-841-1595
関西支部 大阪協議会	北野 一雄	田原 美春	577-0022	大阪府東大阪市荒本新町4番13号 サンリットビル5F A号室	06-6618-7400 znkosk@gmail.com	06-6618-7401
関西支部 和歌山協議会	角口 賀敏	丸田 美枝	640-8303	和歌山県和歌山市鳴神588-1 ソレーユ鳴神1F	073-474-5789 warental@major.ocn.ne.jp	073-474-1038
関西支部 兵庫協議会	富田 幹唱	猪俣 昭雄	650-0025	兵庫県神戸市中央区相生町2-2-7 ツルビル2F	078-361-2481 znkhyug@gmail.com	078-361-2487
中国支部	宇都宮昭憲	上野 聡	733-0873	広島県広島市西区古江新町4-23 アルファ大田201号室	082-275-0532 cyukenrentaru@oasis.ocn.ne.jp	082-275-0538
四国支部	仲田 優晴	美馬 博	770-0044	徳島県徳島市庄町3-16 喜多機械産業(株)内	090-7789-2823 saika@kitakikai.co.jp	088-631-9270
九州支部	中野 登	藤井 正	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル6F	092-482-6685 klr@klr-rental.jp	092-452-2563
沖縄支部	佐久本嘉幸	吉澤 友香	901-2134	沖縄県浦添市港川537-3 D's マンション美ら花302号室	098-876-6410 okirental@tea.ocn.ne.jp	098-876-6410

本部	角口 賀敏	北條 雅己	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYA ビル5F	03-3255-0511 info@j-cra.org	03-3255-0513
----	-------	-------	----------	----------------------------------	--------------------------------	--------------

## 編集後記

前号に続き、今回も国土交通省と陸上自衛隊から、大変貴重なご寄稿を頂きました。国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 課長補佐の大槻 崇 様には、「建設機械の環境対策等について」、また、陸上自衛隊第5施設団 防衛班長の安部 康洋 様には、「平成29年7月 九州北部豪雨災害における陸上自衛隊の災害派遣活動と建設機械の運用について」というテーマでご執筆頂き、各々「かいほう」の記事内容の充実にご協力を賜りました。環境対策等の記事では、騒音・振動・排ガス対策等について、わかりやすく解説していただき、九州北部豪雨災害現場の記事では、当協会会員のレンタル機械利用の写真や災害対応の状況まで掲載していただきました。寄稿者の御二方には、心より感謝申し上げます。

また、本部賛助会員の各社には、広告協賛と「i-Construction」に関するご寄稿等、多彩な内容と広告掲載のご協力に重ねて御礼申し上げます。今後も建設機械レンタル業が「信頼される業界」としてより一層向上できますよう画期的な内容での広報活動に努めてまいります。そしてさらなる充実した記事掲載を目指してまいります。

ところで、当協会広報企画委員会委員の宇都宮氏が昨年秋に栄えある黄綬褒章を受賞されました。この2月10日（土）に広島で盛大な祝賀会が開催され、全国各地より角口会長以下協会役員、正会員・賛助会員の多くの方がお祝いに駆けつけました。当委員会としてご列席いただきました皆様方に感謝申し上げますとともに、合わせて宇都宮委員のさらなるご活躍をお祈り致します。今後とも当協会にご支援ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

広報企画委員会 委員長 気田 福俊

## かいほう No.5 (通巻第74号) 広告掲載社

広告主名	掲載頁
コベルコ建機(株)	表2
ヤンマー建機(株)	1頁
エクセン(株)	80頁
デンヨー(株)	81頁
酒井重工業(株)	82・83頁
日本キャタピラー(同)	84頁
ユアサ商事(株)	85頁
(株)NSD	86頁
(株)生産技術パートナーズ	87頁
関東鉄工(株)	88頁
コマツレンタル(株)	88頁
損害保険ジャパン日本興亜(株)	89頁
(株)ティ・エイチ・アイ	89頁
日本車輛製造(株)	90頁

広告主名	掲載頁
北越工業(株)	90頁
三笠産業(株)	91頁
(株)明和製作所	91頁
和光機械工業(株)	92頁
(株)日商機械	92頁
(株)アイチコーポレーション	106頁
伊藤忠建機(株)	107頁
(株)鶴見製作所	108頁
やまびこジャパン(株)	109頁
(株)アールアンドアール	110頁
日本建設機械レンタル企業年金基金	111頁
(株)クボタ	112頁
日立建機日本(株)	表3
住友建機販売(株)	表4

### かいほう No.5 (通巻第74号)

発行日 平成30年2月  
 発行所 一般社団法人 日本建設機械レンタル協会  
 〒101-0038  
 東京都千代田区神田美倉町12-1 キャビル5階  
 TEL 03-3255-0511 FAX 03-3255-0513

発行責任者 広報企画委員長 気田 福俊

### 広報企画委員会

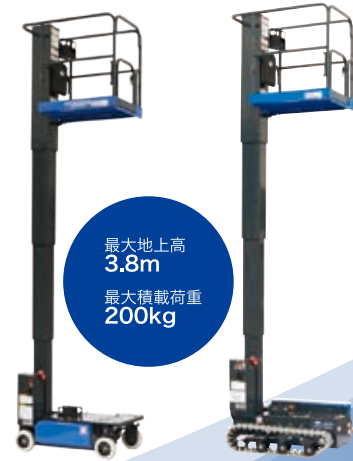
委員長 気田 福俊 青森リース(株)  
 委員 宇都宮昭憲 長浜産業(株)  
 委員 久保田栄二 北辰通商(株)  
 委員 杉本 義雄 ユアサ商事(株)  
 委員 辻村 敏夫 西尾レントオール(株)  
 委員 寅 太郎 (株)レンタルのニッケン  
 委員 永島 一平 熊本中央リース(株)

制作編集 樹芸企画



「安全」「効率」「快適」を現場に。

**SKYTOWER**  
スカイタワー



最大地上高  
3.8m  
最大積載荷重  
200kg

WMO4CINS

RMO4CINS

**BRIDGEMASTER**  
ブリッジマスター



最大乗り越え高さ  
6.0m  
最大地下深さ  
5.94m  
最大差し込み長さ  
7.62m

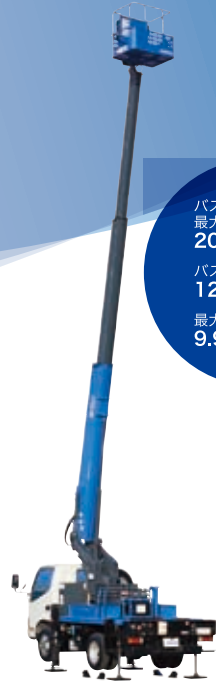
SFT7A-IV

**SKYMASTER**  
スカイマスター



作業床最大積載荷重  
1,000kg  
作業床最大地上高  
9.8m  
(ローラージャッキ仕様)

TZ10C1RR



バスケット  
最大積載荷重  
200kg (2名)  
バスケット最大地上高  
12.1m  
最大作業半径  
9.9m

SK12C1RN



バスケット  
最大積載荷重  
200kg (2名)  
バスケット最大地上高  
30.6m  
最大作業半径  
16.2m

SJ30ARS

もっと人考えたい。— 作業環境創造企業。

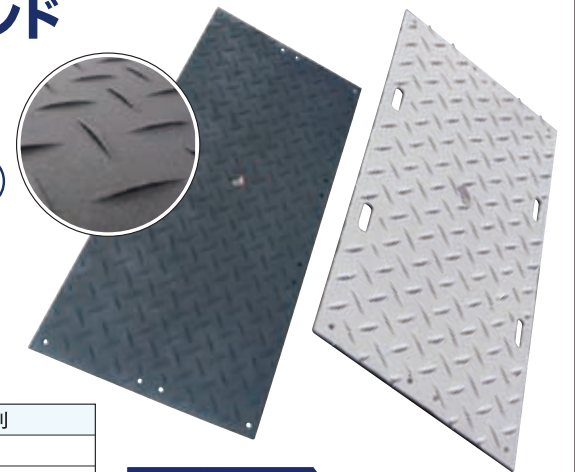
**AICHI**

株式会社 **アイチ コーポレーション** <http://www.aichi-corp.co.jp>

本社 〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152-10 ☎ 048-781-1111  
国内営業部 〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4 ☎ 048-852-1423

信頼と実績の国内No.1ブランド

**プラシキ**®



NETIS 登録番号 : KTK-160010-A

種類	4×8判	3×6判
表裏デザイン	両面山付き、片面フラットの2種類	
材質	100%高密度ポリエチレン(リサイクル可能)	
寸法	1,220×2,440mm (約3㎡)	915×1,830mm (約1.7㎡)
重量	39kg	23kg
板厚	平均12.7mm	
山の高さ	9.5mm	
耐荷重(実績値)	最大車両重量120t(地盤状況により異なります)	
常用時の外気温の範囲 (使用温度)	-20℃~50℃	
穴の内径と数	22mm ID×16穴	22mm ID×8穴 (手持用長穴×4)

軽い・安全!

輸送コスト削減

地盤になじむ

耐久性と復元性を実現

豊富なサイズとカラーバリエーション

## 高機能吸遮音シート エコーバリア H5

現場の騒音対策に! **吸音**と**遮音**を兼ね備えた新たな防音シート



**表層材**  
洗練されたデザインを維持しつつ最大限の騒音低減を確保するための最適質量を備えた、耐久性と防水性に優れた高品質PVCを使用



**吸音材**  
音の反響を防ぐリサイクル材で作られた最高級の吸音材(生分解性)



**透湿防水性素材**  
多目的透湿防水性素材で、水の浸入を防ぎつつ音を吸収

お問い合わせ先

**ITOCHU**

**伊藤忠建機株式会社**  
海外営業部

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町 1-13-7 PMO 日本橋室町

Tel 03-3242-2175 / Fax 03-3242-5360

<http://www.icm.co.jp/>





# ツルミで納得!!

## 用途に合わせて選べる土木建設工事機器

### 工事排水用水中ポンプ



NETIS  
登録商品

水中ハイスピンポンプ  
(自動運転形)

#### LBA型

- 吐出し口径: 40・50mm
- 出力: 0.25・0.48kW
- 全揚程: 6~8m
- 吐出し量: 0.1~0.12m³/min



NETIS  
登録商品

水中ハイスピンポンプ  
(自動運転形)

#### HSE型

- 吐出し口径: 50mm
- 出力: 0.4kW
- 全揚程: 8m
- 吐出し量: 0.1m³/min



NETIS  
登録商品

水中ハイスピンポンプ  
(自動運転形)

#### KTVE型

- 吐出し口径: 50~100mm
- 出力: 0.75~5.5kW
- 全揚程: 10~22m
- 吐出し量: 0.18~0.6m³/min

### 高圧洗浄機

新発売



#### 高圧洗浄機(エンジンタイプ) HPJ-ES型

- 吐出し量: 11.9~32ℓ/min
- 圧力: 4.9~18.6MPa



#### 高圧洗浄機(防音タイプ) HPJ-ESM型

- 吐出し量: 11.9~33.2ℓ/min
- 圧力: 7.8~19.6MPa



#### 高圧洗浄機(モータタイプ) HPJ型

- 吐出し量: 12.9~32.2ℓ/min
- 圧力: 4.9~14.7MPa

### タイヤ洗浄機



#### 自動タイヤ洗浄機 MTW型

- 洗浄時間: 40秒 (1台)

### pH中和装置



#### pH中和処理装置 TPC型

- 希硫酸仕様: 4~35m³/h
- 炭酸ガス仕様: 1~40m³/h

### 散水システム



#### 大型散水機 TWP型

- ポンプ出力: 3~5.5kW
- 合計吐出し量: 200~400ℓ/min

### 集塵機



#### 可搬式集塵機 JS型

- 相・電圧: 単相100V
- 最大風量: 9~10.2m³/min

株式会社 鶴見製作所

大阪本店: 〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4-16-40 TEL.(06)6911-2351 FAX.(06)6911-1800  
東京本社: 〒110-0016 東京都台東区台東1-33-8 TEL.(03)3833-9765 FAX.(03)3835-8429

北海道支店: TEL.(011)787-8385 東京支店: TEL.(03)3833-0331 中部支店: TEL.(052)481-8181 近畿支店: TEL.(06)6911-2311 四国支店: TEL.(087)815-3535  
東北支店: TEL.(022)284-4107 北関東支店: TEL.(027)310-1122 北陸支店: TEL.(076)268-2761 中国支店: TEL.(082)923-5171 九州支店: TEL.(092)452-5001

www.tsurumipump.co.jp

## 2018 新製品

shindaiwa®

新製品 ディーゼルエンジン溶接機 (発電兼用)

ワンダステック

HDW310M 溶接電流(最大):310A  
インバータ発電:3kVA

極超低燃費 極超低騒音

アイドルストップ状態から... 一瞬でアークスタート! 発電も!

快速・快適 “新感覚” 溶接機

新製品 ディーゼルエンジン炭酸ガス溶接機 (発電兼用)

マルチマイク

CO2半自動溶接  
手棒溶接  
ガウジング  
三相交流電源  
単相交流電源

CO<sub>2</sub>Welder  
Multi Mighty  
DGW400MP

機能	50Hz	60Hz	備考
炭酸ガス溶接	370A	390A	60%
	340A	350A	100%
手棒溶接	370A	390A	60%
	390A	400A	最大出力
交流電源	三相 12kVA	15kVA	200V
	単相 9.0kVA	9.9kVA	100V

1台5役 “炭酸ガス” 溶接機

新製品 ミニバルーン 投光機

新製品 分離給油式エンジンカッター

Mini Light SMB44EIE

- 電子安定器内蔵
- 38,000lm
- メタハラ400W

- ゆっくり降る! エアダンパー式3段マスト
- 丈夫なマスト素材! シュラルミン(最上段)・アルミニウム(1~2段)
- 省スペース保管! 2段積み保管を実現
- 超コンパクト! ライトバンに2台積載可能

※搭載発電機: IEG1600M-Y インバータ発電方式、1.6kVA(50/60Hz)、燃料: ガソリン、タンク容量: 4.2L  
■作業時高さ: 約2.7m(MAX)、収納時寸法: 751×492×647mm  
質量: 約43kg(灯具・台車約23kg+発電機20kg)

混合燃料の準備不要!  
残量が一目でわかる! 半透明タンク採用

高性能エアクリーナ搭載!

12インチ Φ320mm ECL7412s 質量: 10.2kg 切断深度: 110mm  
14インチ Φ360mm ECL7414s 質量: 10.6kg 切断深度: 130mm  
12インチ Φ320mm ECLD7412s 質量: 13.1kg 切断深度: 130mm

やまびこジャパン株式会社

本社 〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2TEL 0428-32-1005(代)  
URL http://www.yamabiko-corp.co.jp



# R アールアンドアールの 工場見学会



アールアンドアールの安心と安全、  
信頼の商品・技術力を体感いただける工場見学会です。  
ご参加を随時受け付けております。

株式会社アールアンドアールでは、小型の建設機械のレンタルやアールアンドアールの安心と安全の商品提供を実現させる検査体制に興味のある企業様を対象に、随時工場見学会を全国の営業所にて開催しています。



お客様のご希望に合わせて開催時間やご紹介内容を計画し、より魅力的な内容の見学会を実施させていただきます。  
工場見学会をご希望のお客様は、ホームページまたは最寄りの営業所までお気軽にお問い合わせください。

レンタル業界のパートナー  
株式会社 **アールアンドアール**

本社 〒279-0012 千葉県浦安市入船 1-5-2 NBF 新浦安タワー 16F TEL: 047-316-4688

札幌営業所 ■ 東北営業所 ■ 東北サテライト店 ■ 東京営業所 ■ 千葉サテライト店 ■ 埼玉営業所 ■ 神奈川営業所  
多摩営業所 ■ 名古屋営業所 ■ 大阪営業所 ■ 福岡営業所 ■ サービスセンター ■ 技術部 ■ 営業開発課

## 主なプログラム内容

- ・会社案内
- ・工場商品紹介
- ・商品実演体験
- ・I C タグ紹介
- ・検査機紹介及び体験
- ・意見交換会 など

■9t 油圧引張り試験機



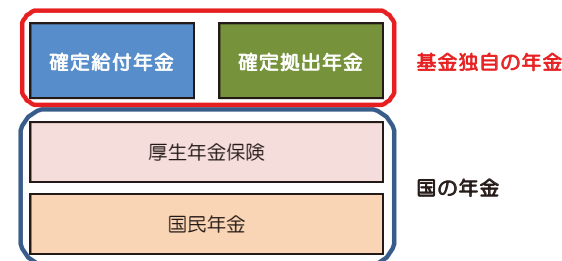
■50t 揚重機械試験装置

ショートムービー公開中!

アールアンドアール 検索

<http://www.r-rental.co.jp>

## 基金加入で 豊かな老後設計を



厚生年金基金の基金独自給付を引継ぎ、平成28年4月確定給付企業年金として生まれ変わりました。同時に確定拠出年金もスタートさせました。

### 加入期間3年以上で年金または一時金を支給

<モデル給付額>大卒、60歳定年、平均給与30万円  
加算部分(今まで) 300万円(一時金ベース)



確定給付年金 160万円  
確定拠出年金 160万円(想定利回り年2.0%)



年金で受取る場合、20年、15年、10年、5年から選択  
20年: 年20万円 ~ 5年: 年70万円  
年金受給資格: 『10年以上』または『55歳以上かつ3年以上』  
で一定の年齢に到達後(60歳または60歳以上での退職時)に支給

### 安定した運営

現在、必要な債務額100億円に対し、140億円の年金資産を有し4割の剰余となっています。また、設定利回りも年2.0%と無理のない制度としました。

### 福祉事業

結婚祝金・災害見舞金・死亡弔慰金の福祉事業を行っています。

※ご質問、ご相談は下記までお問合せください。

## 日本建設機械レンタル企業年金基金

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9  
小網町安田ビル3階

TEL 03(3249)3871

For Earth, For Life  
Kubota

# 信頼の完成度、クボタラインナップ。

乗用車感覚の操作性・快適性

## R SERIES



R430E

R630E

狭い現場で機敏に働く、  
超小旋回機。

## RX SERIES



RX-153S

RX-306E

RX-506

フィールドを選ばない、  
頼れる後方小旋回機。

## U SERIES



U-17

U-30-6

U-40-6E

株式会社クボタ 建設機械マーケティング部

〒556-8601 大阪府大阪市浪速区敷津東1-2-47 TEL 06-6648-2323

株式会社クボタ建機ジャパン

本社 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号  
TEL 06-6470-6200 FAX 06-6470-6201

<http://www.kubotakenki.co.jp>